

平成 9 年

(1997年)

気象概況

温暖な新年を迎え、1月中旬までは晴れる日が多く暖かい日が続いた。下旬の21～23日にかけて本格的な寒波が来襲し、厳しい冷え込みと大雪で交通機関は大混乱となった。

2月も中旬から下旬にかけて周期的に強い冬型となり雪の降る日が多く各地で積雪があった。20日に低気圧が日本海に進んで近畿地方は春一番が吹いた。

3月の上旬から中旬は周期的な天気の変化があり暖かい日が多く、下旬には一時的に強い冬型になったが、月平均気温は平年より高かった。3月30日には桜(ソメイヨシノ)が平年(4月5日)より6日早く開花した。

4月の上旬は西日本に前線が停滞して雨の降る日が続いた。その後は移動性高気圧に覆われ晴れる日が多かった。

5月の上旬8日には前線の影響で大雨となった。中旬後半も低気圧や前線の影響で曇りや雨の日が続き、20日には上空の寒気の影響で大気の状態が不安定となったことから、県内各地でひょうが降った。下旬も上空に寒気を伴った低気圧が日本海に停滞したため、降雨が続き気温も低くかったが、月平均気温は平年並みよりやや高かった。

6月は上旬から低気圧や前線の影響で曇りや雨の日が続き、近畿地方は9日頃に梅雨入りしたが梅雨前線の活動は弱かった。20日には台風第7号の影響でまとまった雨が降り、月降水量は平年比39～111% (少ない～平年並み) であった。

7月前半は梅雨前線が西日本に停滞して活動が非常に活発となり、8日～13日にかけては断続的に短時間で強雨を伴う大雨となった。18日頃に梅雨明けしてからは、太平洋高気圧に覆われ暑い日が続いた。26日～27日は台風第9号が徳島県に上陸し中国地方を縦断して大雨となった。26日の彦根での最大瞬間風速は東南東28.7m/sで、7月としては観測開始以来最も高い値となった。月降水量は平年比124～253% (やや～かなり多い) であった。

8月の前半は西日本に前線が停滞し曇りや雨の日が多く、4日～7日にかけては県南部を中心に大雨となった。後半は太平洋高気圧に覆われ晴天が続いた。

9月上旬は、日本海から南下した秋雨前線の影響、中旬は鹿児島県に上陸した台風第19号と秋雨前線、下旬も低気圧や秋雨前線の影響で曇りや雨の日が多かったが、月降水量は平年比54～117% (やや少ない～平年並み) であった。

10月前半は天気は周期的に変わったが、大きく崩れることはなかった。後半も高気圧に覆われ晴天が続いたが、下旬後半は冬型気圧配置になり、北部中心にしぐれる日が多く、気温も低かった。彦根の月降水量は15.5mmと少なく、10月としては最も少ない値となった。

11月上旬は晴れる日が続いたが、中旬以降は短い周期で低気圧が通過し、下旬の26日と29日に大雨となった。月降水量は平年比115～252% (平年並み～かなり多い) であった。

12月は2日～3日にかけて強い冬型となり真冬並みの寒気が流れ込んで彦根で2日に初雪が降った。後半は低気圧が短い周期で南岸を通過することが多く、冬型は長続きせず気温は高かった。

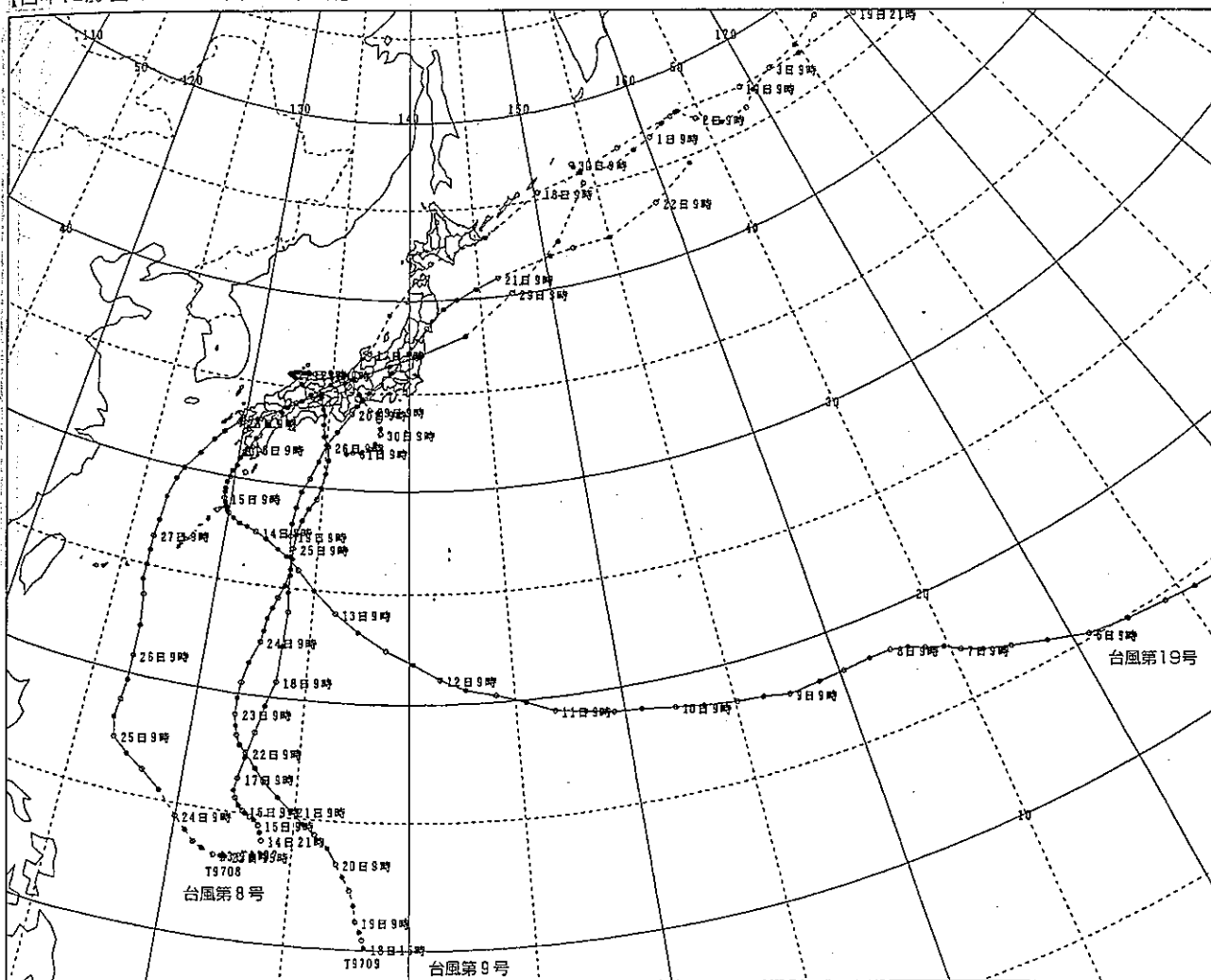
1

台風

(1) 台風の概況

台風の発生数は28個で、ほぼ平年並みであった。月別に見ると4月～6月の3ヶ月間に8個発生し、この期間の平年値(3.7個)と比べて発生数の多いのが特徴であった。7月以降は8月を除き平年より少ない発生数であった。日本への接近数は15個でほぼ平年並み。日本本土への上陸数は4個で平年よりも多く、このうち第7～9号は3個続けて上陸した。特に第7、8号は6月に上陸し、6月に台風が2個上陸したのは気象庁が1951年に正式に台風の統計を開始して以来初めてのことであった。また、6月に上陸した第7号は統計開始以来5番目に早い上陸である。

【日本に影響のあった台風の経路】



《彦根地方気象台における極値》

台風番号	最低気圧	最大風速	最大瞬間風速
台風第7号	992.2hPa	NE 11.2m/s	NE 23.2m/s
台風第8号	983.3hPa	NW 14.6m/s	NW 23.6m/s
台風第9号	992.2hPa	ESE 10.8m/s	ESE 28.7m/s
台風第19号	1001.8hPa	ESE 11.2m/s	ESE 23.6m/s

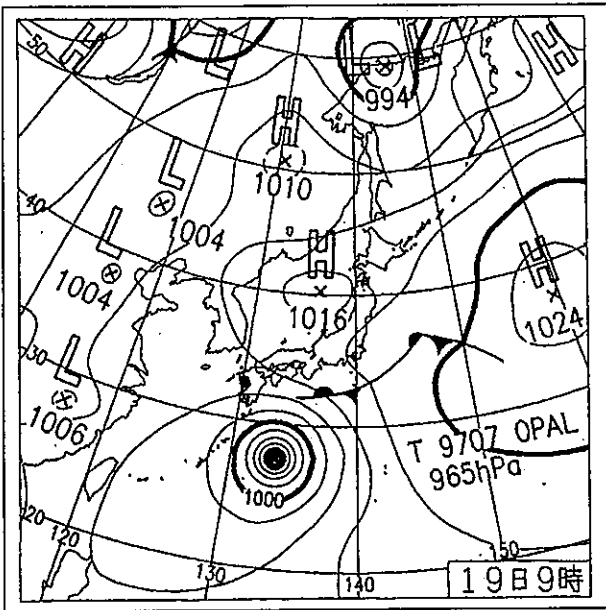
(2) 災害の状況

◆台風第7号 (6月19日~20日)

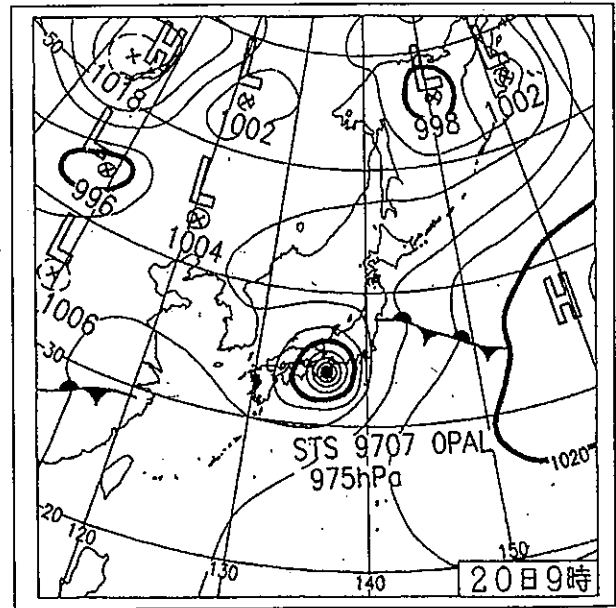
I 気象の概要

6月14日21時にフィリピンの東海上で発生した弱い熱帯低気圧は、16日09時に同海域で台風第7号となった。台風は、次第に速度を速めながら北上し、17日15時には同海域で大型で強い勢力となった。台風は勢力を保ちながら、18日から19日にかけて南大東島の東海上を北上し、20日には四国沖で北東に向きを変えた。20日10時頃、紀伊半島東岸を通過して同日11時半頃、中型で並みの勢力で愛知県に上陸した。その後、東日本から東北地方南部にかけて通過し、同日夜には三陸沖に達した。彦根における最低気圧は992.2hPa (20日11時30分)、最大風速は北東の風11.2m/s (20日09時40分)、最大瞬間風速は北東の風23.2m/s (20日09時36分)であった。

【6月19日9時の天気図】



【6月20日9時の天気図】



※L=低気圧 H=高気圧 T=台風 TD=熱帯低気圧

II 降雨の状況

19日夕刻より降り始めた雨は、台風の接近に伴い20日朝方より激しさを増し、本県の東部の山間部では、時間30~40mmを越す雨を記録している。

最大時間雨量は、土山町(大河原)で49mm、同町北土山(土山)で35mm、永源寺町(永源寺)で32mm、多賀町(大君畑)で37mm、愛東町(大萩)で37mmに達するなど各地で強い雨を記録した。

今回の台風による雨は、降り始めから降り終わりまで24時間以内で完了しているため、24時間雨量と連続雨量は同じで、土山町(大河原)で209mm、永源寺町(政所)208mm、日野町(熊野)で172mm、多賀町(大君畑)で179mmの強い雨を記録した。このため、鈴木山系を源流に持つ各河川で被害を受けた。

《気象台観測所雨量》

単位(mm)

地域気象観測所における降水量

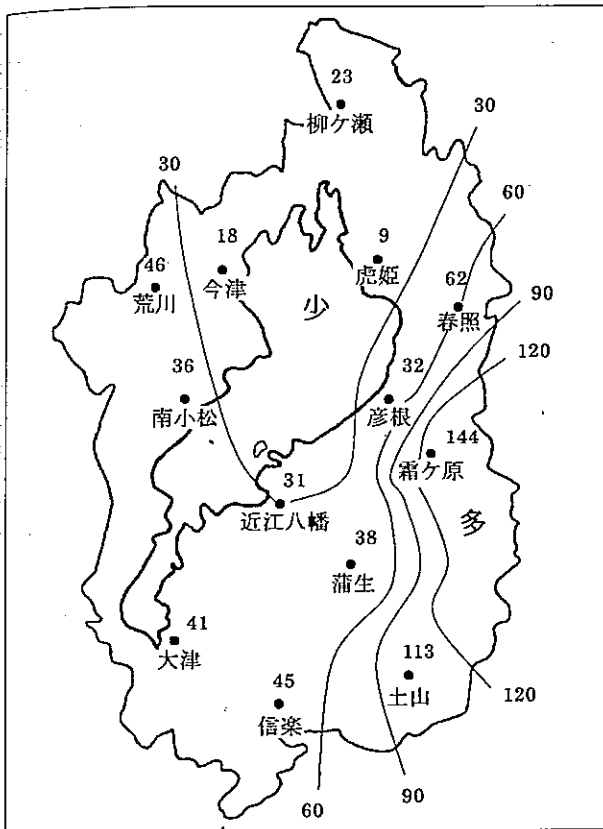
(6月19日~20日)

観測所	日	19日	20日	計
柳ヶ瀬		-	23	23
今津		-	18	18
虎姫		-	9	9
荒川		2	44	46
春照		2	60	62
南小松		1	35	36
彦根		1	31	32
近江八幡		-	31	31
霜ヶ原		1	143	144
蒲生		-	38	38
大津		2	39	41
信楽		1	44	45
土山		4	109	113

- = なし

【降水量分布図】
(6月19日~20日)

単位(mm)



Ⅲ 出水の状況

台風第7号の通過に伴い、20日未明より強い雨が降り出し、特に20日06時から10時までの間、時間20mmを越す雨が降り続き、多いところで4時間に150mmにも達した。

今回の雨は県南東部に集中して短時間で降ったため、県内東部の各河川は急激に増水し、野洲川をはじめ警戒水位を越え、土山町を流れる野洲川及び田村川で被害を受けた。

このため、県、市町村や地元水防団が河川の警戒にあたった。

《主要河川水位表》

河川名	観測所	區 轄 県 土木事務所名	警戒水位 (m)	最高水位 (m)	日 時
野 洲 川	水口橋	水口土木	1.35	1.65	20日13時
田 村 川	前川橋	水口土木	1.80	2.50	20日10時
日 野 川	桐原橋	八日市土木	3.00	3.11	20日14時

Ⅲ 気象官署のとした処置

(ア) 注意報・警報の発表状況

種 類	発 表 時 刻	発表・切替・解除
強風注意報	19日14時00分	発表
暴風警報・大雨・洪水・雷注意報	19日14時00分	切替
大雨・洪水・暴風警報・雷注意報	20日08時50分	〃
大雨・洪水・雷・強風注意報	20日12時10分	〃
強風注意報	20日13時40分	〃
〃	20日18時00分	解除

(イ) 気象情報

種 類	発 表 時 刻	種 類	発 表 時 刻
台風に関する情報第1号	19日11時00分	台風に関する情報第5号	20日07時20分
台風に関する情報第2号	19日16時20分	台風に関する情報第6号	20日10時30分
台風に関する情報第3号	19日22時20分	台風に関する情報第7号	20日13時50分
台風に関する情報第4号	20日04時30分		

(ウ) 県の対策状況

種 類	配 備 時 刻	配備・切替・解除
第2号警戒体制	19日14時00分	配備
第1号警戒体制	20日12時10分	切替
〃	20日18時00分	解除

IV 被害の状況

(ア) 住家被害

区 分	棟	被災市町村(棟)
非住家	その他	1
		近江町(1)

(イ) 農林水産・土木関係被害

区 分	戸	箇所	棟	被災市町村(戸・箇所・棟)
河 川		3		土山町(3)
電 気	1			長浜市(1)
ビニールハウス			15	草津市(7) 近江八幡市(7) 信楽町(1)

(ウ) 農産被害

被害対象	数量	被害の程度	被災市町村
ビニールハウス	7棟	一部破損	草津市
ブ ド ウ	3ha	落葉	浅井町
	10a	新梢折れ	浅井町
葉 ネ ギ	50a	倒伏	大津市
ビニールハウス	7棟	一部破損	近江八幡市・能登川町
リ ン ゴ	150a	落果	甲賀町
ビニールハウス	1棟	破損	信楽町

(エ) 被害金額

区 分	金額(千円)
公共土木施設	31,741
〈小 計〉	31,741
農産被害	1,560
その他	150
《被害総額》	33,451

(オ) その他の状況

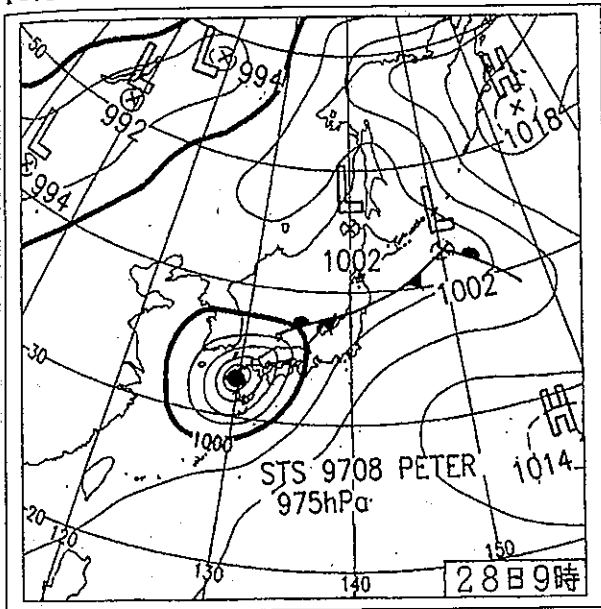
区 分	被害の状況
交通障害	20日近江町世継で強風のため非住家(4mのプレハブ農小屋)が倒壊、また、信楽町黄瀬で倒木により、それぞれ県道が一時片側通行。土山町鮎河で土砂崩れにより県道が一時不通。 その他国道421・306・477号の三重県との県境付近で、雨量が規制値を越えたとして一時通行止め。名神高速道路、京滋バイパスでは、08時から12時35分まで50km/hの速度制限。
鉄 道	JR湖西線は、強風のため比良-北小松間で徐行運転となり、上下30本が1~8分遅れ、約5,000人に影響がでた。
船 舶	琵琶湖汽船は夜のチャーター船を除いて終日欠航した。
学 校	20日早朝の警報発表により、市町村立幼稚園157園、小学校231校、中学校98校、障害児学校12校、高校48校が臨時休校の処置をとった。

◆台風第8号(6月28日~29日)

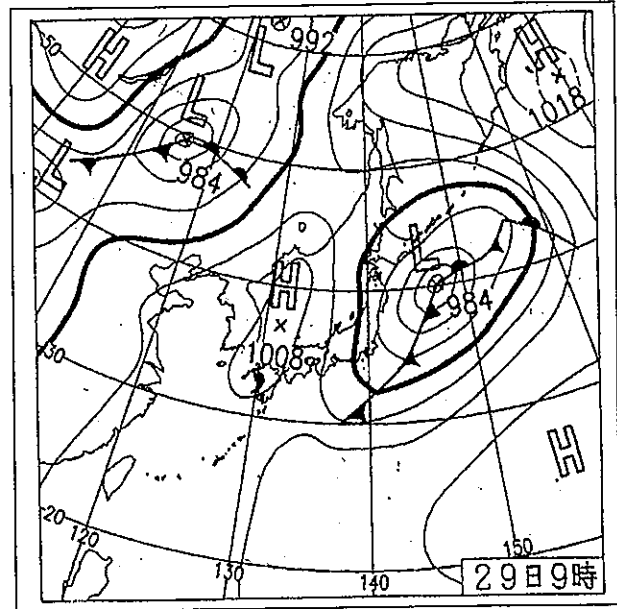
I 気象の概要

6月22日15時にフィリピンの東海上で発生した弱い熱帯低気圧は、24日15時に同海域で台風第8号となった。台風は、更に発達しながら沖縄の南海上を北上し、27日朝に宮古島と沖縄本島の間を通過後、大型で強い勢力で東シナ海を北上し、九州の西海上で向きを北東に変えた。28日09時に大型で並みの強さの勢力で九州北部西岸に上陸し、九州北部を横切り、瀬戸内海を通過して、同日17時前に岡山県に再上陸し、近畿地方北部(21時前に滋賀県近傍)から関東地方北部を通過して29日早朝に三陸沖へ抜けた。彦根における最低気圧は983.3hPa(28日19時38分)、最大風速は北西の風14.6m/s(29日00時10分)、最大瞬間風速は北西の風23.6m/s(29日01時15分)であった。

【6月28日9時の天気図】



【6月29日9時の天気図】



※ L=低気圧 H=高気圧 T=台風 TD=熱帯低気圧

II 降雨の状況

県内は、28日の夜を中心に強い風が吹いた。また夜に入って全域で雨となり、18時から21時にかけて1時間20~30mmの激しい雨が降った所もあった。

《気象台観測所最大風速》

単位 (m/s)

地域気象観測所における最大風速

(6月28日~29日)

観測所	風速	日時
今津	9	29日02時
虎姫	7	28日13時
南小松	12	28日23時
彦根	12	29日02時
蒲生	10	29日02時
大津	5	29日03時
信楽	5	29日01時
土山	4	29日19時

《気象台観測所雨量》

単位 (mm)

地域気象観測所における降水量

(6月28日～29日)

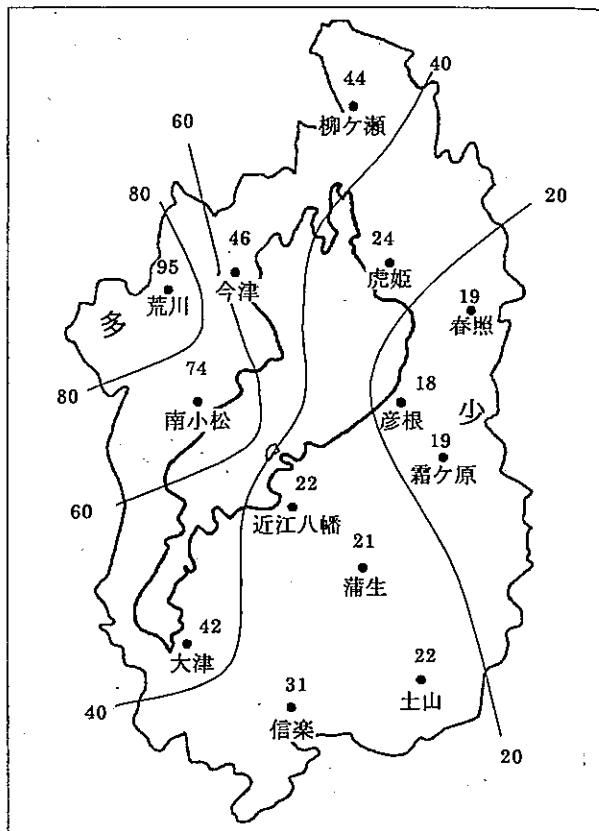
観測所	日	28日	29日	計
柳ヶ瀬		40	4	44
今津		40	6	46
虎姫		24	-	24
荒川		63	32	95
春照		19	-	19
南小松		68	6	74
彦根		17	1	18
近江八幡		22	-	22
霜ヶ原		18	1	19
蒲生		20	1	21
大津		41	1	42
信楽		28	3	31
土山		22	-	22

- = なし

【降水量分布図】

単位 (mm)

(6月28日～29日)



Ⅲ 気象官署のとした処置

(ア) 注意報・警報の発表状況

種 類	発 表 時 刻	発 表 ・ 切 替 ・ 解 除
大雨・洪水・雷・強風注意報	28日08時50分	発表
暴風警報・大雨・洪水・雷注意報	28日16時20分	切替
大雨・洪水・暴風警報・雷注意報	28日19時00分	〃
大雨・洪水・強風注意報	28日22時00分	〃
南部・強風注意報、北部・洪水・強風注意報	29日04時15分	〃
強風注意報	29日06時40分	〃
〃	29日16時30分	解除

(イ) 気象情報

種 類	発 表 時 刻	種 類	発 表 時 刻
台風に関する情報第1号	28日10時00分	台風に関する情報第4号	28日19時15分
台風に関する情報第2号	28日13時00分	台風に関する情報第5号	28日22時30分
台風に関する情報第3号	28日16時40分		

(ウ) 県の対策状況

種 類	配 備 時 刻	配 備 ・ 切 替 ・ 解 除
第1号警戒体制	28日08時50分	配備
第2号警戒体制	28日16時20分	切替
第1号警戒体制	28日22時00分	〃
〃	29日06時40分	解除

IV 被害の状況

(ア) 農林水産・土木関係被害

区分	箇所	被災市町村(箇所)
鉄道不通	1	J R湖西線
ブロック塀	1	志賀町
育苗ハウス	3	志賀町(3)

(イ) 農産被害

名称	被災数量	被害程度	被災市町村
水稻	800ha	葉先萎凋	大津市・志賀町
ブドウ	40a	新梢の先端折れ	西浅井町
キュウリ・トマト・ネギ	32a	倒伏・果実に傷・葉先折れ	大津市・志賀町・余呉町

(ウ) 被害金額

区分	金額(千円)
農林水産業施設	3,000
〈小計〉	3,000
《被害総額》	3,000

(エ) その他の状況(交通障害)

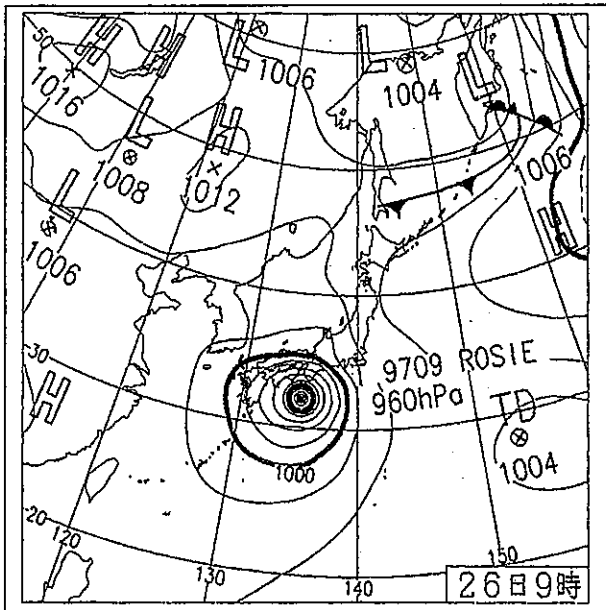
区分	被害の状況
鉄道	J R湖西線比良駅構内で、29日00時過ぎ、停車中の貨物列車(20両編成)の最後尾から3~5両目までの車両が脱線・転覆した。 新聞報道によると、J R北小松-和邇駅間にある比良川の風速計で瞬間風速が25m/sを越えたため、28日22時30分頃から運転を取り止めていた。現場近くでは、事故直前に最大瞬間風速43m/sを記録した、とのことで、この地域特有の局地風「比良八荒」が吹いたと思われる。この事故によるけが人はなかったものの、特急列車17本が北陸線に迂回したほか、新快速8本・普通電車37本が運休し、6本が最高43分遅れ、約1万人に影響がでた。
道路	県道途中-志賀間で強風により民家の塀が倒れ、電柱が折れ一時通行が規制された。

◆台風第9号(7月26日~28日)

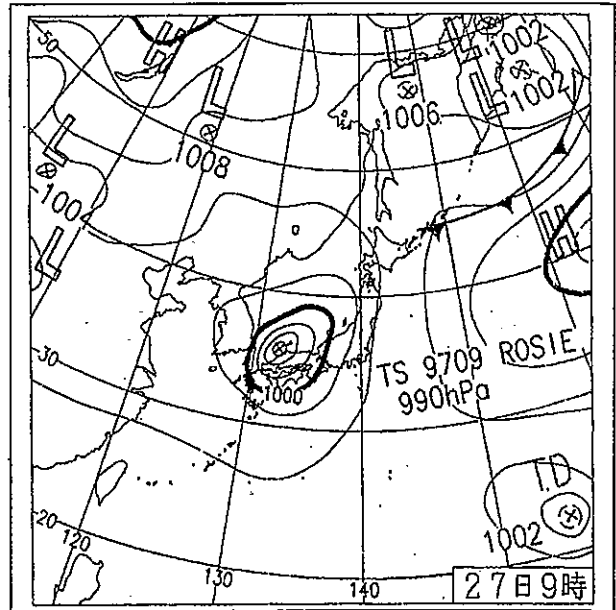
I 気象の概況

7月18日15時にフィリピンの東海上で発生した弱い熱帯低気圧は、20日09時に同海域で台風第9号となった。台風は、北上しながら発達し、22日夜には大型で強い勢力となり、25日朝にはこの勢力を保ったまま南大東島の東海上を北上した。台風は、更に日本の南海上を北上し、26日17時過ぎに中型で強い勢力で四国の東部(徳島県阿南市付近)に上陸した。その後、播磨灘を通り、同日21時前に岡山県(備前市付近)に再上陸し、向きを北西に変えて中国地方を横断、27日には山陰沖にほぼ停滞した。28日06時に同海域で弱い熱帯低気圧となって東に進み、28日夜から29日朝にかけて北陸地方西部から東海地方へ南下して、東海沖へ進んだ。その後西寄りに進み、31日21時に紀伊半島の南海上で消滅した。彦根における最低気圧は992.2hPa(26日16時37分)、最大風速は東南東の風10.8m/s(26日20時00分)、最大瞬間風速は東南東の風28.7m/s(26日16時35分)であった。

【7月26日9時の天気図】



【7月27日9時の天気図】



※L=低気圧 H=高気圧 T=台風 TD=熱帯低気圧

II 降雨の状況

26日未明より降り始めた雨は、台風の接近に伴い26日昼頃より激しさを増し、県東部の山間部では、時間30~40mmを越す雨を記録した。

最大時間雨量は、土山町（大河原）で39mm、日野町（熊野）で39mm、永源寺町（永源寺）で43mm、多賀町（大君畑）で43mmに達するなど各地で強い雨を記録した。

最大24時間雨量は、土山町（大河原）で385mm、日野町（熊野）で326mm、永源寺町（永源寺）で395mm、多賀町（大君畑）で351mmに達するなど県東部を中心に非常に激しい雨を降らせた。

この間の総雨量でも、土山町（大河原）や、永源寺町（永源寺）で400mmを越す大雨となった。

《気象台観測所雨量》

単位 (mm)

地域気象観測所における降水量

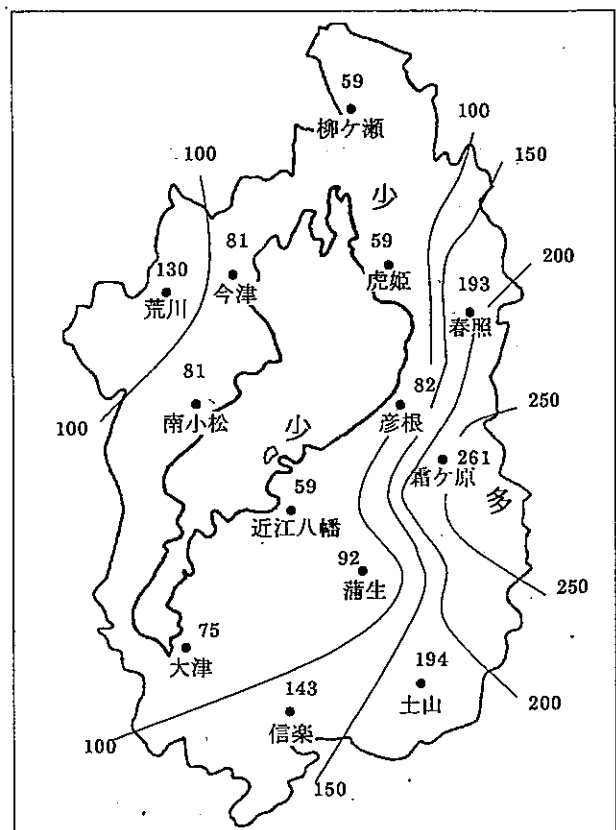
(7月26日~28日)

観測所	日	26日	27日	28日	計
柳ヶ瀬		37	15	7	59
今津		30	24	27	81
虎姫		37	9	13	59
荒川		71	40	19	130
春照		155	26	12	193
南小松		33	14	34	81
彦根		63	4	15	82
近江八幡		39	1	19	59
霜ヶ原		226	17	18	261
蒲生		62	4	26	92
大津		38	5	32	75
信楽		106	11	26	143
土山		149	20	25	194

【降水量分布図】

単位 (mm)

(7月26日~28日)



Ⅲ 出水の状況

台風第9号の通過に伴い、県東部および西部山岳地帯を中心に時間20mmを越える雨が数時間続いたことにより、この地域を流域にもつ各河川で著しい水位の上昇があった。

今回の出水では、野洲川を始め9河川12箇所では通報水位を越え、このうち警戒水位に達した箇所は日野川、安曇川をはじめ4河川6箇所にのぼった。

このため、滋賀県水防本部は、水防計画に基づき5河川で水防警報を発令し、県をはじめ市町村、地元水防団により河川の警戒にあたった。

《主要河川水位表》

河川名	観測所	県土木事務所名	警戒水位 (m)	最高水位 (m)	日 時
愛知川	御幸橋	彦根土木	1.50	1.94	26日23時
愛知川	紅葉橋	八日市土木	3.44	3.58	26日22時
安曇川	常安橋	今津土木	1.50	1.59	27日10時

Ⅳ 気象官署のとした処置

(ア) 注意報・警報の発表状況

種 類	発 表 時 刻	発表・切替・解除
強風注意報	25日14時30分	発表
暴風警報・大雨・洪水・雷注意報	26日08時00分	切替
暴風・大雨・洪水警報・雷注意報	26日13時00分	〃
暴風・大雨・洪水警報・雷注意報	26日20時30分	〃
大雨・洪水・雷・強風注意報	27日01時20分	〃
大雨・洪水・強風注意報	27日16時20分	〃
〃	27日22時00分	解除

(イ) 気象情報

種 類	発 表 時 刻	種 類	発 表 時 刻
台風に関する情報第1号	25日16時30分	台風に関する情報第6号	26日16時20分
台風に関する情報第2号	25日22時15分	台風に関する情報第7号	26日19時30分
台風に関する情報第3号	26日05時00分	台風に関する情報第8号	26日22時20分
台風に関する情報第4号	26日10時10分	台風に関する情報第9号	27日02時30分
台風に関する情報第5号	26日13時30分	滋賀県の大雨と強風に関する情報第1号	27日10時30分

(ウ) 県の対策状況

種 類	配 備 時 刻	配備・切替・解除
第2号警戒体制	26日08時00分	配備
第1号警戒体制	27日01時20分	切替
〃	27日22時00分	解除

Ⅴ 被害の状況

(ア) 住家被害

区 分	棟	世帯	人	被災市町村(棟・世帯・人)
一部破損	3	3	6	水口町(2・2・4) マキノ町(1・1・2)
非住家	公共建物	5		浅井町(4) マキノ町(1)
	その他	4		野洲町(2) 米原町(1) マキノ町(1)

(イ) 農林水産・土木関係被害

区 分	戸	回線	棟	被 災 市 町 村 (戸・回線・棟)
道 路	12			土山町(1) 甲賀町(8) 日野町(1) 永源寺町(2)
河 川	17			甲賀町(8) 永源寺町(2) 能登川町(1) 愛東町(1) 湖東町(1) 朽木村(3) 安曇川町(1)
崖くずれ	6			甲賀町(6)
電話(電気)		1,165		大津市(260) 守山市(50) 甲西町(5) 水口町(580) 甲賀町(85) 多賀町(185)
ブロック塀	1			浅井町(1)
ビニールハウス			59	栗東町(50) 彦根市(6) 長浜市(2) 米原町(1)

(ウ) 被害金額

区 分	金額(千円)
公立文教施設	647
農林水産業施設	20,075
公共土木施設	121,496
その他の公共施設	2,131
〈小 計〉	144,349
農産被害	5,210
その他	27,098
《被害総額》	176,657

(エ) その他の状況(交通障害)

区 分	被 害 の 状 況
鉄 道	J R新幹線は米原-京都間(26日17時18分~19時24分)運休、東海道線、湖西線は13時から新快速運休、近江鉄道など私鉄も一部区間の運休が相次いだ。
船 舶	琵琶湖汽船オーミマリンは26日始発から全便欠航した。
道 路	名神高速道路、北陸自動車道は26日12時55分から、京滋バイパスでも13時から50km/hの速度規制となり、国道477号など5路線5箇所、県道8路線10箇所などで雨量が規制値を越えたとして一時通行止めとなった。

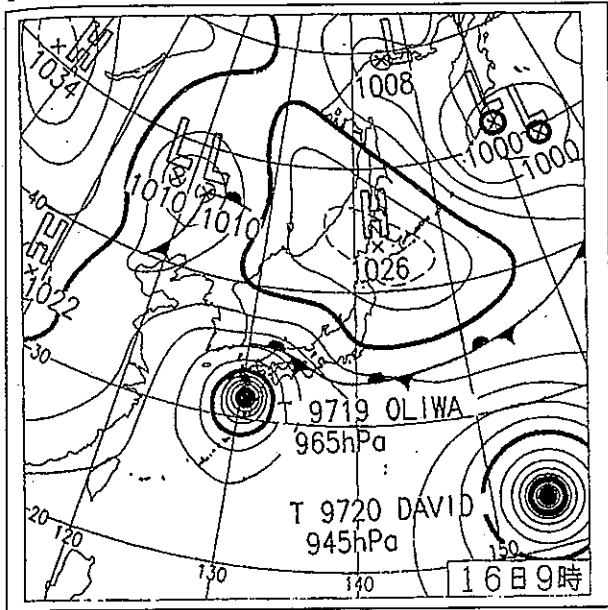
◆台風第19号(9月16日~17日)

I 気象の概況

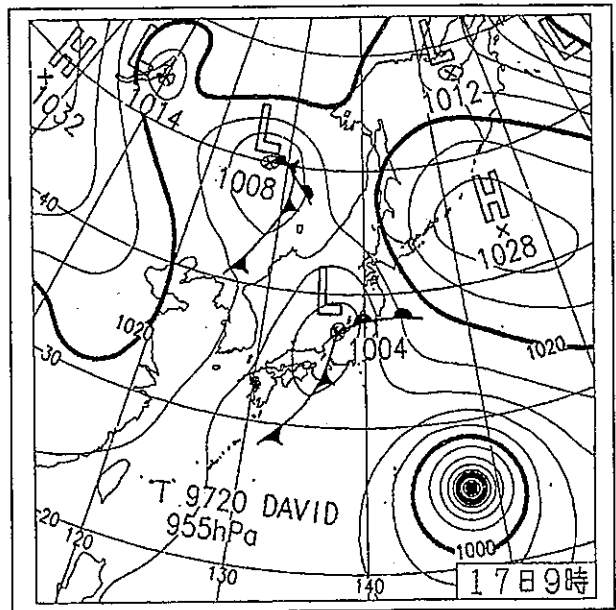
9月4日09時にマーシャル諸島の東海上を西進していた弱い熱帯低気圧が台風第19号となった。台風は発達しながら西寄りに進み、11日から12日にかけて大型で非常に強い勢力で小笠原諸島の南海上を北西へ進み、13日夜から14日の朝にかけて南大東島の東海上を北西へ進んだ。台風は奄美諸島の近海でゆっくりとした速度で向きを変えて北上し、16日08時過ぎ、大型で強い勢力で鹿児島県枕崎市付近に上陸した。台風は次第に速度を上げて九州を縦断して瀬戸内海に進み、17日午前00時ごろ中型で弱い勢力で岡山県倉敷市付近に再上陸した。17日早朝には若狭湾に進み、06時に温帯低気圧に変わって北東に進んだ。

彦根における最低気圧は1001.8hPa(17日01時37分)、最大風速は東南東の風11.2m/s(16日19時50分)、最大瞬間風速は東南東の風23.6m/s(16日19時39分)であった。

【9月16日9時の天気図】



【9月17日9時の天気図】



※L=低気圧 H=高気圧 T=台風 TD=熱帯低気圧

II 降雨の状況

大型で強い勢力を保った台風第19号は、16日08時過ぎ鹿児島県枕崎市付近に上陸、九州を北東に進み、勢力を弱めながら16日夜に岡山県備前市付近に再上陸し、北東進を続け17日早朝敦賀湾から日本海へ抜けた。県内では16日宵の内から風が強まり、夜遅くから雨も強まった。

《気象台観測所雨量》

単位 (mm)

地域気象観測所における降水量

(9月16日~17日)

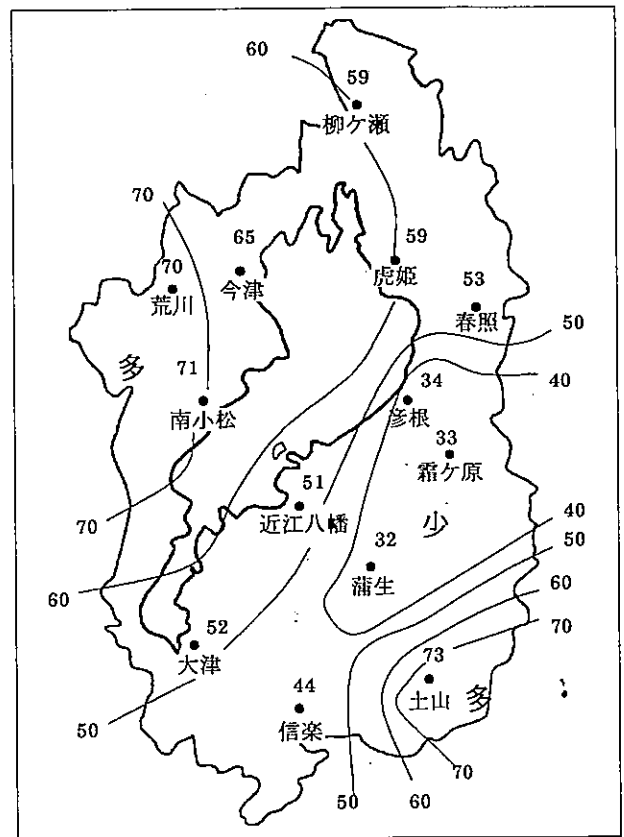
観測所	日	16日	17日	計
柳ヶ瀬		2	57	59
今津		1	64	65
虎姫		3	56	59
荒川		4	66	70
春照		9	44	53
南小松		1	70	71
彦根		2	32	34
近江八幡		1	50	51
霜ヶ原		9	24	33
蒲生		4	28	32
大津		-	52	52
信楽		3	41	44
土山		32	41	73

-=なし

【降水量分布図】

単位 (mm)

(9月16日~17日)



V 被害の状況

(ア) 農林水産・土木関係被害

区分	棟	被災市町村
ビニールハウス	5	彦根市

(イ) 被害金額

区分	金額 (千円)
農産被害	230
〈被害総額〉	230

(ウ) その他の被害

がけ崩れの状況

永源寺町政所の国道421号線の西側斜面で発生し、幅5mにわたって土砂が流出し道路をふさいだ。
そのため金剛橋－藤川橋間を17日朝から通行規制した。

2

豪 雨

◆大雨(5月8日)

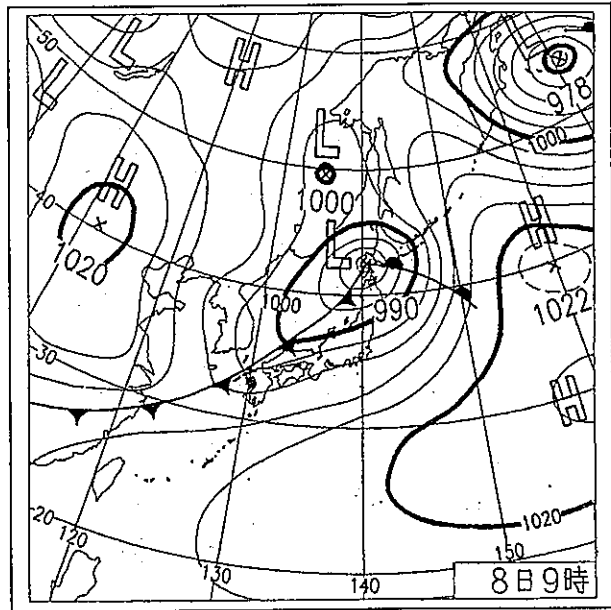
I 気象の概要

8日は、低気圧が発達しながら日本海から千島近海へ進み、寒冷前線が北日本から西日本にかけて通過した。

II 降雨の状況

7日の夜から余呉町柳ヶ瀬など局地的に雨が降っていたが、寒冷前線南下時の8日夕方から夜にかけては、全域で1時間に15~25mmの激しい雨が降った。

【5月8日9時の天気図】



※L=低気圧 H=高気圧 T=台風 TD=熱帯低気圧

《気象台観測所雨量》

単位(mm)

地域気象観測所における降水量

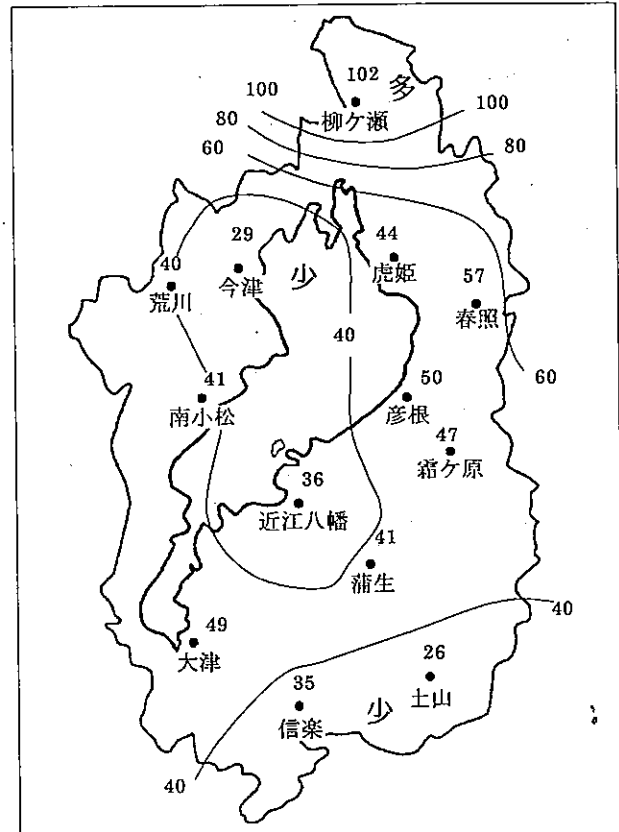
(5月8日)

観測所	日	8日
柳ヶ瀬		102
今津		29
虎姫		44
荒川		40
春照		57
南小松		41
彦根		50
近江八幡		36
霜ヶ原		47
蒲生		41
大津		49
信楽		35
土山		26

【降水量分布図】

単位(mm)

(5月8日)



III 被害の状況

(ア) 住家被害

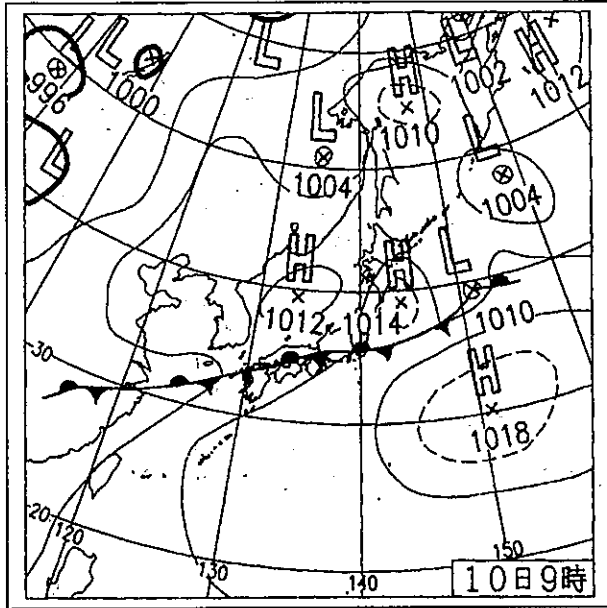
区分	棟	世帯	人	被災市町村(棟・世帯・人)
床下浸水	5	5	13	長浜市(5・5・13)

◆梅雨前線による大雨・強風（7月7日～13日）

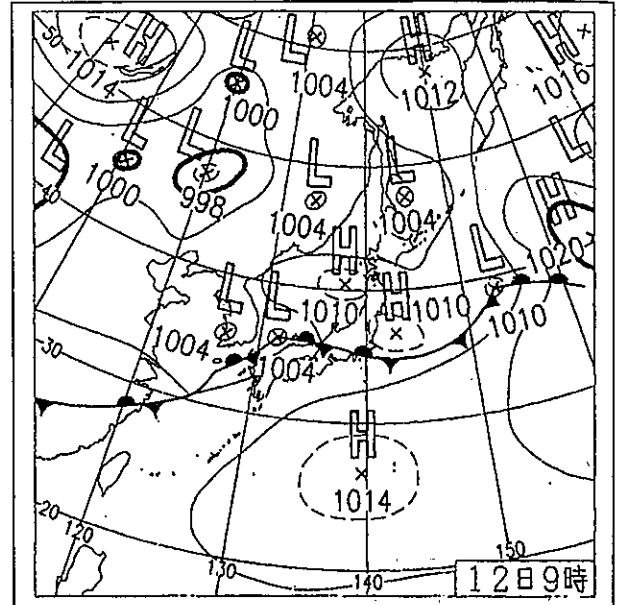
I 気象の概要

7日は梅雨前線上の低気圧が日本海から北海道に進み、梅雨前線が西日本まで南下し停滞した。この停滞している梅雨前線に向かって、太平洋高気圧の縁に沿って暖かく湿った空気が入り前線の活動が活発になった。また、11日は前線上の低気圧が黄海から山陰沖に進んだ。12日～13日も梅雨前線は西日本から関東南岸で停滞した。

【7月10日9時の天気図】



【7月12日9時の天気図】



※L=低気圧 H=高気圧 T=台風 TD=熱帯低気圧

II 降雨の状況

7日午後から断続的に雨が降り出した。9日には短時間強雨を伴う大雨となり、南小松で07時までの1時間に30mm、08時までの1時間に37mm、09時までの1時間に彦根で42mm、近江八幡で40mm、10時までの1時間に霜ヶ原で34mmを観測した。10日も15時までの1時間に彦根・大津で33mmを観測するなど激しい雨が降り、10日の日降水量は大津で94mmに達した。11日も午前中を中心に強い雨が降った。12日も終日雨で短時間強雨を伴う大雨となり13日昼頃まで続いた。7日から13日にかけての降水量は全域で200～300mmに達した。

《気象台観測所雨量》

単位 (mm)

地域気象観測所における降水量

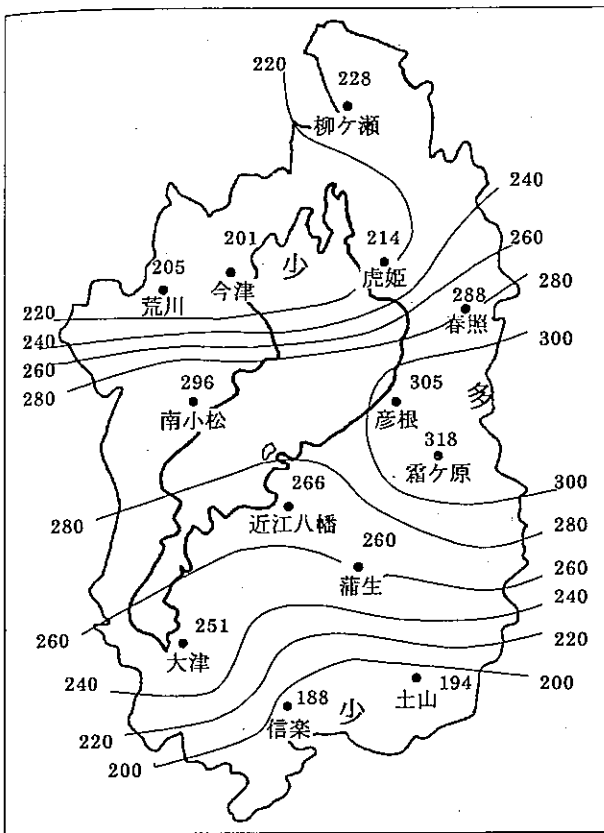
(7月7日～13日)

観測所	日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	計
柳ヶ瀬		4	29	35	48	17	85	10	228
今津		2	6	32	59	21	71	10	201
虎姫		3	12	32	56	16	84	11	214
荒川		1	13	30	70	21	58	12	205
春照		14	22	45	76	23	95	13	288
南小松		6	9	73	74	22	92	20	296
彦根		2	32	59	71	30	79	32	305
近江八幡		-	14	62	58	40	60	32	266
霜ヶ原		1	15	62	58	66	90	26	318
蒲生		-	1	9	83	64	56	47	260
大津		-	2	8	94	43	46	58	251
信楽		1	-	40	51	22	31	43	188
土山		1	-	39	54	15	40	45	194

-=なし

【降水量分布図】
(7月7日~13日)

単位(mm)



Ⅲ 出水の状況

今回の豪雨は、梅雨前線の停滞によるものであり、数日間続く長雨により地面が飽和状態になった。このような状態の中で降った雨は、地面に吸収されずに一気に河川に流れ込み、各地で急激な河川の増水を起こした。

今回の出水では、特に県東部に大雨をもたらしたため、この地域を流域にもつ日野川をはじめとする7河川、11箇所で開催水位を越え、このうち警戒水位に達した箇所は、3河川、5箇所にのぼった。また、この出水により滋賀県水防計画に基づき水防警報を行った河川は日野川で1箇所、姉川で2箇所あった。これを受けて県、市町村や地元水防団は河川の警戒にあたった。

《主要河川水位表》

河川名	観測所	県土木事務所名	警戒水位 (m)	最高水位 (m)	日時
日野川	桐原橋	八日市土木	3.00	3.66	11日08時
日野川	増田橋	八日市土木	2.25	2.45	11日07時
佐久良川	市子橋	八日市土木	1.20	1.30	11日06時

Ⅳ 気象官署のとした処置

(ア) 注意報・警報の発表状況

種類	発表時刻	発表・切替・解除
雷・強風注意報	7日10時40分	発表
大雨・雷・洪水注意報	7日23時30分	切替
雷注意報	8日16時00分	〃
大雨・雷・洪水注意報	8日19時40分	〃
大雨・洪水警報・雷注意報	9日07時20分	〃
大雨・雷・洪水注意報	9日15時15分	〃
大雨・洪水警報・雷注意報	10日04時00分	〃
大雨・雷・洪水注意報	10日06時30分	〃
大雨・洪水警報・雷注意報	10日13時40分	〃
大雨・雷・洪水注意報	10日17時50分	〃
南部 大雨・洪水警報・雷注意報、北部 大雨・雷・洪水注意報	11日05時20分	〃
大雨・雷・洪水注意報	11日13時10分	〃
大雨・洪水警報・雷注意報	12日08時40分	〃
大雨・雷・洪水注意報	12日17時00分	〃
大雨・洪水警報・雷注意報	13日08時00分	〃
大雨・雷・洪水注意報	13日11時20分	〃
雷注意報	13日15時20分	〃
〃	14日03時15分	解除

(ア) 気象情報

種 類	発 表 時 刻	種 類	発 表 時 刻
大雨に関する情報第1号	8日22時50分	大雨に関する情報第15号	11日13時30分
大雨に関する情報第2号	9日09時40分	大雨に関する情報第16号	11日16時30分
大雨に関する情報第3号	9日12時30分	大雨に関する情報第17号	11日21時30分
大雨に関する情報第4号	9日16時30分	大雨に関する情報第18号	12日06時30分
大雨に関する情報第5号	9日22時20分	大雨に関する情報第19号	12日09時30分
大雨に関する情報第6号	10日07時20分	大雨に関する情報第20号	12日12時30分
大雨に関する情報第7号	10日09時50分	大雨に関する情報第21号	12日15時30分
大雨に関する情報第8号	10日14時30分	大雨に関する情報第22号	12日17時20分
大雨に関する情報第9号	10日15時40分	大雨に関する情報第23号	12日21時30分
大雨に関する情報第10号	10日16時30分	大雨に関する情報第24号	13日05時30分
大雨に関する情報第11号	10日18時30分	大雨に関する情報第25号	13日08時20分
大雨に関する情報第12号	10日21時40分	大雨に関する情報第26号	13日11時30分
大雨に関する情報第13号	11日06時30分	大雨に関する情報第27号	13日15時30分
大雨に関する情報第14号	11日11時20分		

(ウ) 県の対策状況

種 類	配 備 時 刻	配備・切替・解除
第1号警戒体制	7日23時30分	配備
第2号警戒体制	9日07時20分	切替
第1号警戒体制	9日15時15分	〃
第2号警戒体制	10日04時00分	〃
第1号警戒体制	10日06時30分	〃
第2号警戒体制	10日13時40分	〃
第1号警戒体制	10日17時50分	〃
第2号警戒体制	11日05時20分	〃
第1号警戒体制	11日13時10分	〃
第2号警戒体制	12日08時40分	〃
第1号警戒体制	12日17時00分	〃
第2号警戒体制	13日08時00分	〃
第1号警戒体制	13日11時20分	〃
〃	13日15時20分	解除

IV 被害の状況

(ア) 住家被害

区 分	棟	世帯	人	被災市町村(棟・世帯・人)
床下浸水	44	44	106	草津市(12・12・38) 守山市(15・15・25) 栗東町(4・4・13) 能登川町(6・6・10) 長浜市(6・6・16) 米原町(1・1・4)
非住家 その他	2			守山市(1) 米原町(1)

(イ) 農林水産・土木関係被害

区 分	ha	戸	被災市町村(ha、戸)
田 冠 水	0.4		志賀町(0.4)
そ 道 路		6	志賀町(4) 日野町(1) 伊吹町(1)
の 橋りょう		1	日野町(1)
他 河 川		19	近江八幡市(2) 蒲生町(6) 日野町(4) 竜王町(7)

(ウ) 被害金額

区 分	金額(千円)
農林水産業施設	96,300
公共土木施設	401,807
〈小 計〉	498,107
《被害総額》	498,107

(エ) その他の状況(交通障害)

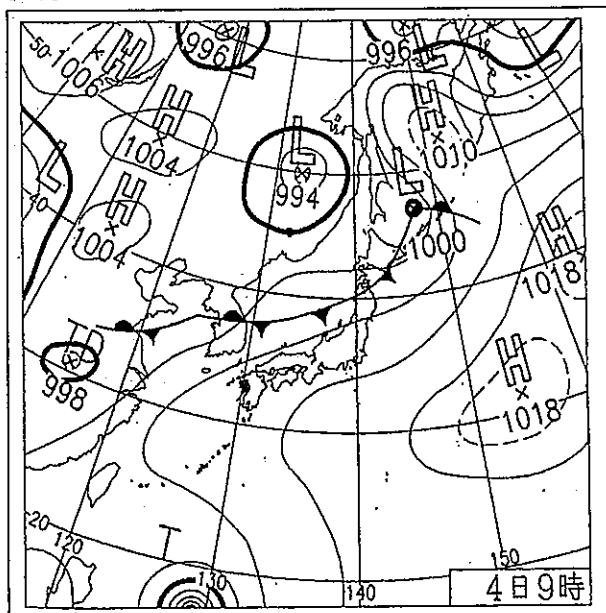
区 分	被 害 の 状 況
鉄 道	9日、10日と12日の強雨のため、JRの在来線は徐行運転を行い15分程度遅れた。
道 路	県内の高速道路で一時速度制限を行った。 9日11時頃県道多賀-永源寺線の多賀町萱原地先で崩土が発生して通行止めとなるなど、11路線13箇所で開催止めや片側通行となった。 国道421号など5路線6区間、県市町村道9路線10区間で雨量が基準値を越えたとして一時通行止めとなった。
学 校	9~11日の間、草津養護学校など、延べ10校が休校や終業時間を繰り上げるなどの処置をとった。

◆大雨(8月4日~5日)

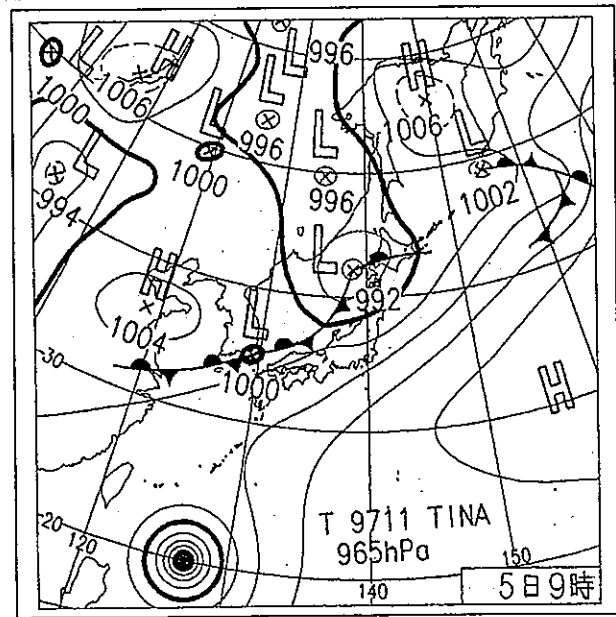
I 気象の概要

4日に日本海に停滞する前線を低気圧が進んだあと、5日の夕方にかけて前線がゆっくり南下し、近畿地方に南から暖かくて湿った空気が入った。このため、大気の状態が非常に不安定となって、局地的に雷を伴う強い雨が降った。レーダー・アメダス解析雨量によると、5日の正午までの1時間に大津市で80~90mmの激しい雨が解析された。

【8月4日9時の天気図】



【8月5日9時の天気図】



※L=低気圧 H=高気圧 T=台風 TD=熱帯低気圧

II 降雨の状況

4日は、千島近海に進んだ低気圧から北日本を通過して黄海に伸びる前線の活動が活発になった。5日は低気圧が発達しながら日本海から北海道へ進み、前線が夕方にかけてゆっくり南下した。近畿地方は南から暖かく湿った空気が入って大気の状態が非常に不安定となり、局地的に雷を伴う激しい雨が降った。

5日は各地で1時間20~40mmの短時間強雨を伴って、日降水量は南小松、近江八幡、蒲生、大津で100mmを超えた。

《気象台観測所雨量》

単位 (mm)

地域気象観測所における降水量

(8月4日～5日)

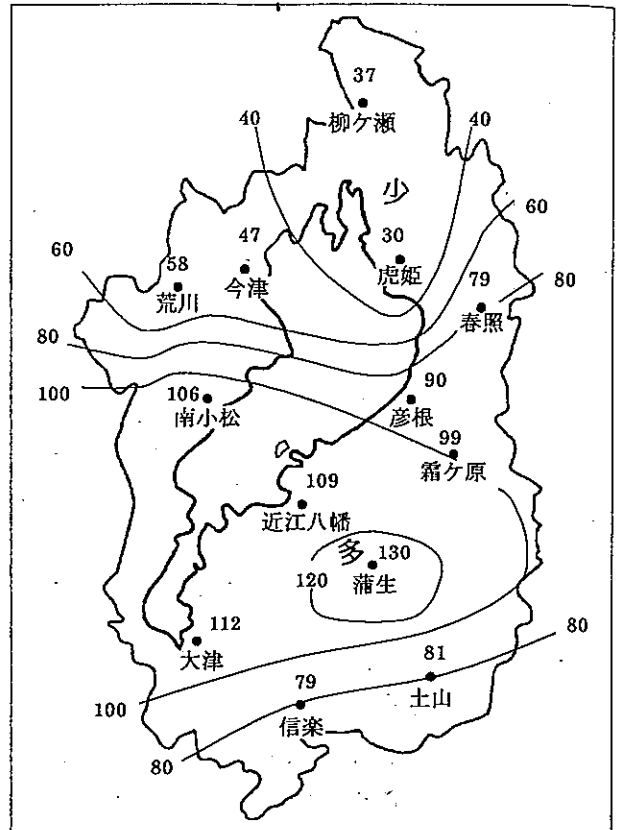
観測所	日	4日	5日	計
柳ヶ瀬		6	31	37
今津		6	41	47
虎姫		-	30	30
荒川		-	58	58
春照		52	27	79
南小松		1	105	106
彦根		35	55	90
近江八幡		6	103	109
霜ヶ原		35	64	99
蒲生		22	108	130
大津		6	106	112
信楽		5	74	79
土山		17	64	81

-=なし

【降水量分布図】

単位 (mm)

(8月4日～5日)



Ⅲ 出水の状況

低気圧の通過により、4日夕刻から5日日中にかけて、県南西部にある大津市域を中心に、多いところで総雨量225mmに達する降雨となった。

この雨は、5日の午前中に集中して強く降ったもので、特に大津市域では1時間に30～90mm、9時～12時の3時間に50～180mmと猛烈な雨が降った。

この集中豪雨により、同市市街地内を流れる10数本の小河川では溢水し、市内でお年寄りが亡くなられたほか、床上浸水が40棟以上、床下浸水も多数発生した。また山沿いの住宅地周辺でも数箇所で崖崩れが発生し、多くの住民が公民館等に避難された。

公共土木施設については、大津市内で県管理の河川、市管理の河川と道路で被害があり、河川の護岸欠損や道路の法面崩壊などが発生した。

8月4日～5日における前線による集中豪雨で連続雨量は、225.0mm(8月4日19時～5日16時)であった。

このため、約10,000m³の土砂が人家、市道300m、県道200m、農道1km、宅地0.1ha、耕地2.0ha、その他(自衛隊射撃訓練所)1.6haに流出した。

Ⅳ 気象官署のとした処置

(ア) 注意報・警報の発表状況

種 類	発 表 時 刻	発表 切替 解除
雷注意報	4日13時30分	発表
大雨・雷・洪水注意報	4日18時20分	切替
雷注意報	4日23時20分	〃
大雨・雷・洪水注意報	5日08時10分	〃
大雨・洪水警報・雷注意報	5日09時35分	〃
大雨・洪水警報・雷注意報	5日14時35分	〃
大雨・雷・洪水注意報	5日17時10分	〃
雷注意報	6日09時20分	〃

(イ) 県の対策状況

種 類	配 備 時 刻	配 備 ・ 切 替 ・ 解 除
第1号警戒体制	4日18時20分	配備
第2号警戒体制	5日09時35分	切替
第1号警戒体制	5日17時10分	〃
〃	6日09時20分	解除

V 被害の状況

(ア) 人的被害

区 分	人	被 災 市 町 村 (人)
死 者	1	大津市
負 傷 者	1	大津市

(イ) 住家被害

区 分	棟	世帯	人	被 災 市 町 村 (棟 ・ 世 帯 ・ 人)
半 壊	1	1	4	大津市(1・1・4)
一 部 破 損	4	4	16	大津市(4・4・16)
床 上 浸 水	42	42	126	大津市(42・42・126)
床 下 浸 水	553	553	1677	大津市(490・490・1,470) 草津市(18・18・61) 守山市(27・27・81) 栗東町(17・17・61) 竜王町(1・1・4)

(ウ) 農林水産・土木関係被害

区 分	箇所	戸	棟	被 災 市 町 村 (戸 ・ 箇 所 ・ 棟)
道 路	10			大津市(7) 石部町(1) 甲西町(2)
河 川	23			大津市(21) 野洲町(2)
崖 ぐ ず れ	2			大津市(2)
水 道		54		大津市(54)
ビニールハウス			3	中主町(3)

(エ) り災者数・り災世帯数

名 称	り災規模	被 災 市 町 村
り災世帯数	世帯 47	大津市(47・141)
り災人数	人 141	

(オ) 被害金額

区 分	金 額 (千 円)
農林水産業施設	56,500
公共土木施設	146,300
〈小 計〉	202,800
農産被害	50,430
林産被害	6,900
その他	32,600
〈被害総額〉	292,730

(カ) その他の状況(交通障害)

区 分	被 害 の 状 況
道 路	道路損壊2箇所(県道石部草津線の草津市山寺町地先で路肩欠損のため5日15時から片側通行、県道伊香立浜大津線の大津市滋賀里で崩土のため17時から通行止め)のほか、国道161号など9路線11区間で冠水や雨量が基準値を越えたとして通行止めや片側通行の措置がとられた。
鉄 道	JR湖西線、草津線では3本が運休したほか時速15キロの最徐行運転を実施した。
そ の 他	オーミマリンも5日の午後便が欠航、江若交通も一部路線運休した。

◆強風・大雪・低温（1月21日～23日）

I 降雪の状況

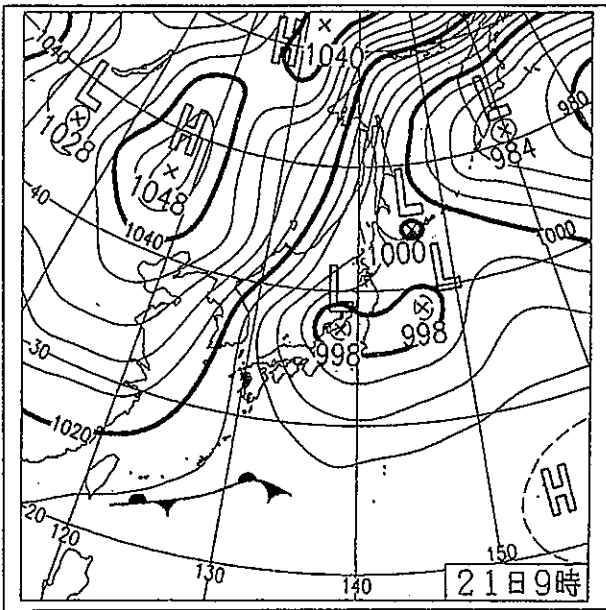
21日は、日本海中部に発生した低気圧が発達しながら関東の東海上へ進み、台風並みに急速に発達した。大陸からは優勢な高気圧が張り出し強い冬型気圧配置になり、日本海上空には -42°C 以下の寒気が流れ込んだ。

21日昼頃から県内全域で風が強まり、断続的に激しい雪が降り大雪となった。この強い風と雪は23日にかけて続き、厳しい冷え込みも加わったため、交通機関は大混乱となった。また、水道管の破損が続出した。

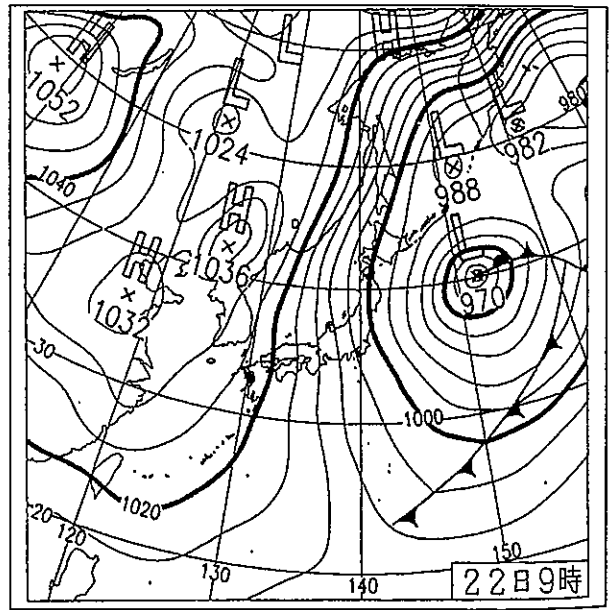
彦根では 21日 最大風速 北西14.4m/s 最大瞬間風速 北西25.4m/s

22日 最大風速 北西13.8m/s 最大瞬間風速 北西24.9m/sを観測した。

【1月21日9時の天気図】



【1月22日9時の天気図】



※L=低気圧 H=高気圧 T=台風 TD=熱帯低気圧

《気象台観測所最大風速》

単位 (m/s)

地域気象観測所における最大風速

(8月21日～22日)

観測所	風速	日時
今津	11	22日09時
虎姫	10	21日14時
南小松	7	21日17時
彦根	13	21日21時
蒲生	12	21日17時
大津	9	21日21時
信楽	7	21日17時
土山	7	21日17時

II 気象官署のとした処置

(ア) 注意報・警報の発表状況

種 類	発 表 時 刻	発表・切替・解除
風雪・雷注意報	21日11時00分	発表
大雪・風雪・雷注意報	21日16時30分	切替
大雪・風雪・低温注意報	22日15時45分	〃
大雪・風雪・低温注意報	23日03時00分	解除

III 被害の状況

(ア) 農林水産・土木関係被害

区 分	戸	棟	被災市町村(戸・棟)
電 気	2,130		八日市市(300) 彦根市(900) 愛東町(300) 西浅井町(630)
ビニールハウス		24	草津市(1) 守山市(1) 栗東町(1) 甲西町(1) 近江八幡市(4) 八日市市(2) 安土町(3) 能登川町(11)

(イ) 被害金額

区 分	金額(千円)
農林水産業施設	85
〈小 計〉	85
農産被害	3,718
《被害総額》	3,803

(ウ) その他の状況

区 分	被 害 の 状 況
道 路	名神高速道路が22日未明から夕方にかけて、上りの彦根-西宮間、下りの一宮-西宮間が通行止め。北陸自動車道は21日21時から22日にかけて木之本-武生間で通行止め。京滋バイパスは21日未明から夕方まで通行止め、その他県内の主要道は軒並みチェーン規制。 また、21日17時から22日17時までに328件のスリップ事故が発生し16人が負傷。(県警調べ)
鉄 道	J Rは22日始発から徐行運転が続き、タイヤが大幅に乱れ、22日17時現在東海道線は最大約3時間45分遅れ、144本運休。湖西線、北陸線は最大4時間10分遅れ、22本運休。草津線でも最大3時間近く遅れた。新幹線を含めた全体で、53万人余りの足が乱れた。(J R西日本管内) また、京阪京津線、同石山線及び近江鉄道も最大15~20分遅れた。
電 力	雪と強風による配・送電線の断線・短絡等により、彦根市など2市2町の約2,130軒で21日夕方から夜にかけて最大3時間停電した。
学 校 関 係	高校1校休校、38高校、6幼稚園、16小学校、10中学校で始業・終業時間を変更した。また、近江八幡市の八幡中学校では沖島からの通学船が欠航し、35人が自宅学習となった他、3校の児童・生徒が自宅学習に切り替えた。
水 道	大津市、彦根市などで、民家の水道管が破裂するなどの問い合わせが続出した。
船 舶	琵琶湖汽船の観光船や定期便(浜大津-草津・烏丸半島)が強風などにより欠航した。

◆雪害なだれ（1月26日）

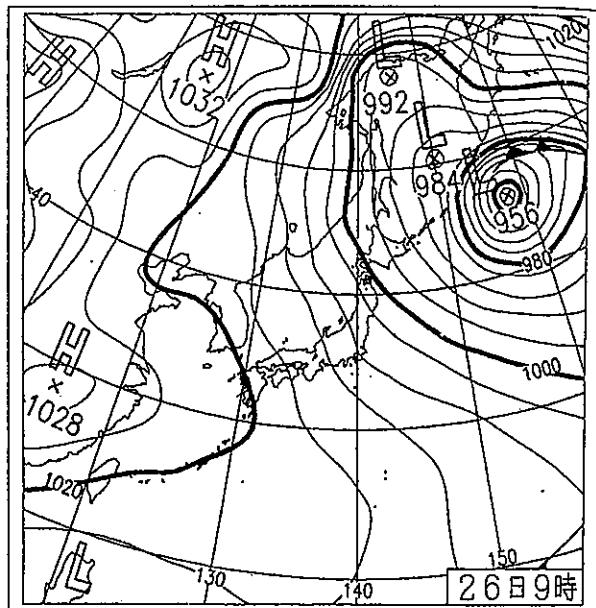
I 気象の概要

24日は、日本の南海上を低気圧が北東に進み、25日にかけて関東の東海上に抜けて発達し冬型の気圧配置となった。このため、県内全域で雪が降り、25日09時の積雪は柳ヶ瀬で42cm、春照で17cm、26日09時は柳ヶ瀬59cm、春照21cmとなっていた。その後、冬型は緩み、彦根では26日午後から雪が雨に変わった。

III なだれの状況

新聞報道によれば、26日10時頃、滋賀県伊吹町甲津原の奥伊吹スキー場「しゃくなげゲレンデ」最上部付近（標高約800m）で、幅・長さ各約150mにわたってなだれが起き、ゲレンデにいたスキー客9人が生き埋めとなった。スキー場職員らが救助にあたり、全員を救助したが、1人重体（2月7日になって死亡）、4人が捻挫などの軽傷を負った。なだれはゲレンデの最上部南側の山の斜面で発生したもようで、21日までは積雪も70cmと少なめだったが、22日からの雪で26日までに1mを越す積雪となった。締まった雪にサラサラした新雪が積もって、表層なだれが起きたらしく、事故当時は雪混じりの強風が吹き、視界が悪かった。

【1月26日9時の天気図】



※L=低気圧 H=高気圧 T=台風 TD=熱帯低気圧

《気象台観測所積雪》

単位 (cm)

地域気象観測所における09時の積雪の深さ

(1月26日)

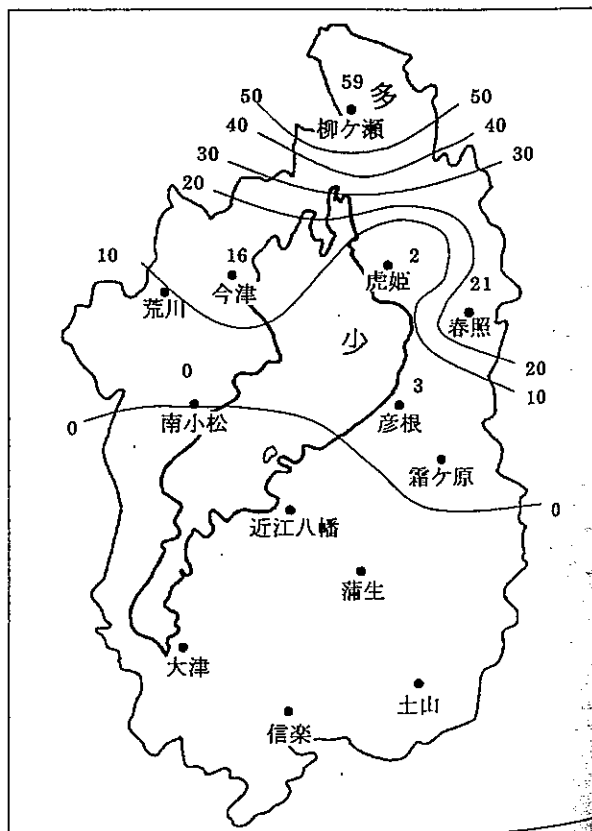
観測所	日	26日
柳ヶ瀬		59
今津		16
虎姫		2
荒川		-
春照		21
南小松		0
彦根		3
近江八幡		-
霜ヶ原		-
蒲生		-
大津		-
信楽		-
土山		-

- = なし・0 = 1cm未満

【積雪分布図】

単位 (cm)

(1月26日)



II 被害の状況

(ア) 人的被害

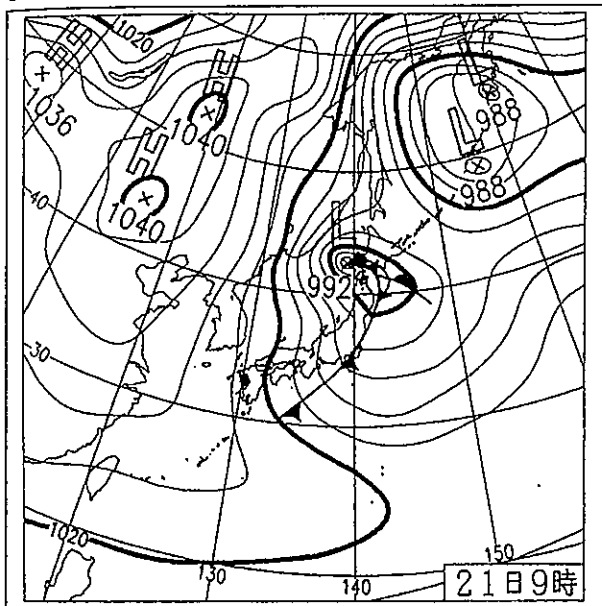
区分	人	被災市町村
死者	1	伊吹町
軽傷	3	伊吹町

◆大雪(2月21日~22日)

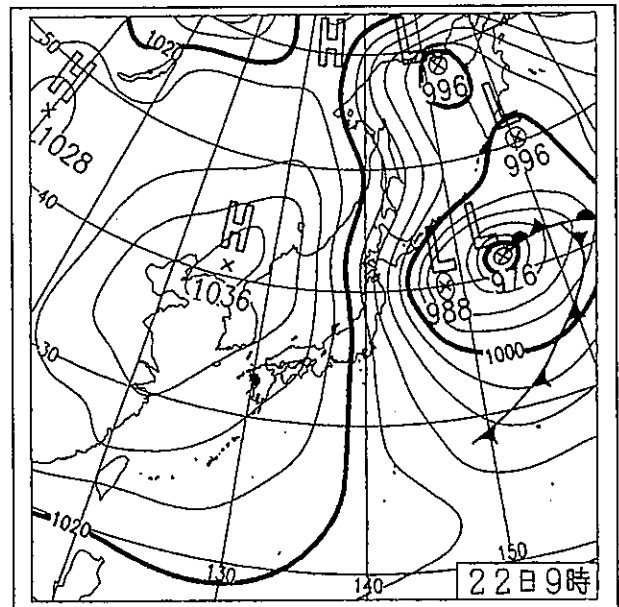
I 気象の概要

21日は、低気圧が日本海北部を東進し北海道の東海上へ進んで非常に発達し、強い冬型気圧配置となった。

【2月21日9時の天気図】



【2月22日9時の天気図】



※L=低気圧 H=高気圧 T=台風 TD=熱帯低気圧

II 降雪の状況

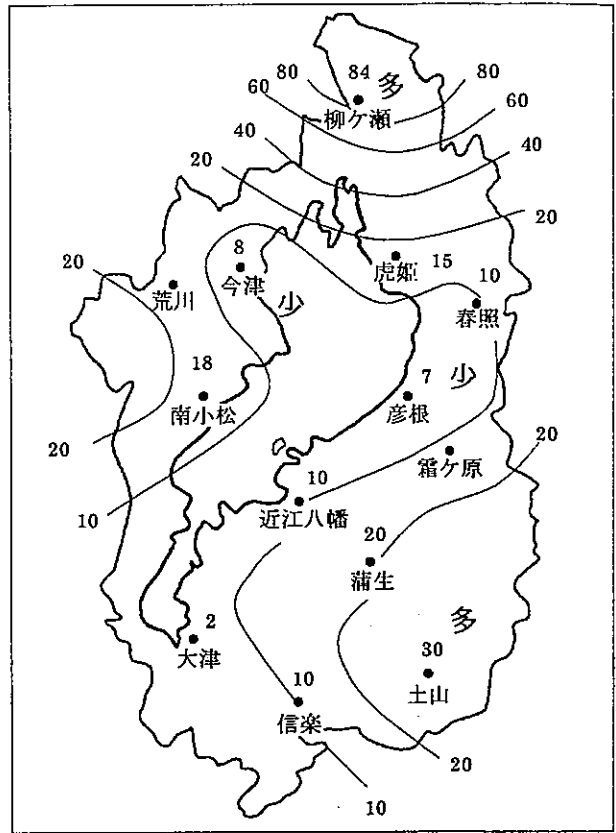
低気圧から伸びる寒冷前線は午前中に西日本を通過し、強い寒気が流れ込んで県下全域で風雪が強まり、22日夕方まで続いた。

《気象台観測所積雪》 単位 (cm)
地域気象観測所における09時の積雪の深さ
(2月22日)

観測所	日	22日
柳ヶ瀬	ヶ瀬	84
今津	津	8
虎姫	姫	15
荒川	川	-
春照	照	10
南小松	松	18
彦根	根	7
近江八幡	幡	10
霜ヶ原	原	-
蒲生	生	20
大津	津	2
信楽	楽	10
土山	山	30

- = なし

【積雪分布図】 単位 (cm)
(2月22日)



Ⅲ 気象官署のとした処置

(ア) 注意報・警報の発表状況

種 類	発 表 時 刻	発表・切替・解除
南部 強風注意報 北部 風雪・雷・なだれ注意報	21日07時30分	発表
南部 風雪注意報 北部 風雪・雷・なだれ注意報	21日11時40分	切替
南部 大雪・風雪注意報 北部 大雪・風雪・雷・なだれ注意報	21日16時30分	〃
南部 風雪注意報 北部 風雪・なだれ注意報	22日16時10分	〃
〃	23日04時00分	切替

(イ) 気象情報

種 類	発 表 時 刻
大雪と強風に関する情報第1号	22日09時30分

Ⅳ 被害の状況

(ア) 交通障害

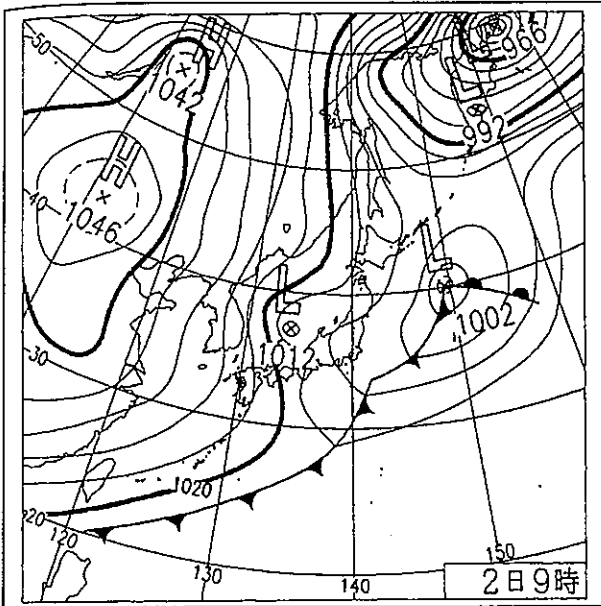
区 分	被 害 の 状 況
道 路	名神高速道路は、天王山-岐阜県境間で50km/hの速度規制が行われ、上り線が滋賀県甲賀郡甲西町菩提寺パーキングを先頭に、一時約30kmの渋滞となった。
鉄 道	JRは東海道新幹線が22日始発から名古屋-新大阪間で上下とも徐行運転を実施、上下計209本の列車が約40分遅れ125,000人の足が乱れ、在来線も3分程遅れた。 また、21日21時15分頃、蒲生郡蒲生町の近江鉄道桜川踏切で、約3cmの積雪のためスリップして踏切内に入った軽トラックが電車に衝突し、後続の電車3本が約30分遅れた。なお、この事故によるケガ人はなかった。

雪害(12月2日~3日)

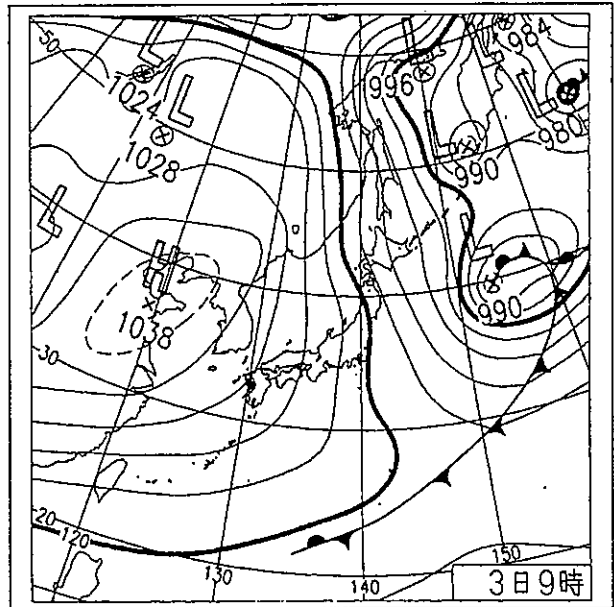
I 気象の概要

2日は、低気圧が山陰沖から日本の東海上へ進み、冬型の気圧配置となって日本海の上空には真冬並みの-30℃の寒気が流れ込んだ。

【2月2日9時の天気図】



【2月3日9時の天気図】



※L=低気圧 H=高気圧 T=台風 TD=熱帯低気圧

II 降雪の状況

県内は2日夕方から雪が降りだし、3日の09時に南小松で16cmの積雪となるなど、積雪により県内の交通機関に乱れがでた。

《気象台観測所積雪》

単位 (cm)

地域気象観測所における09の積雪の深さ

(12月3日)

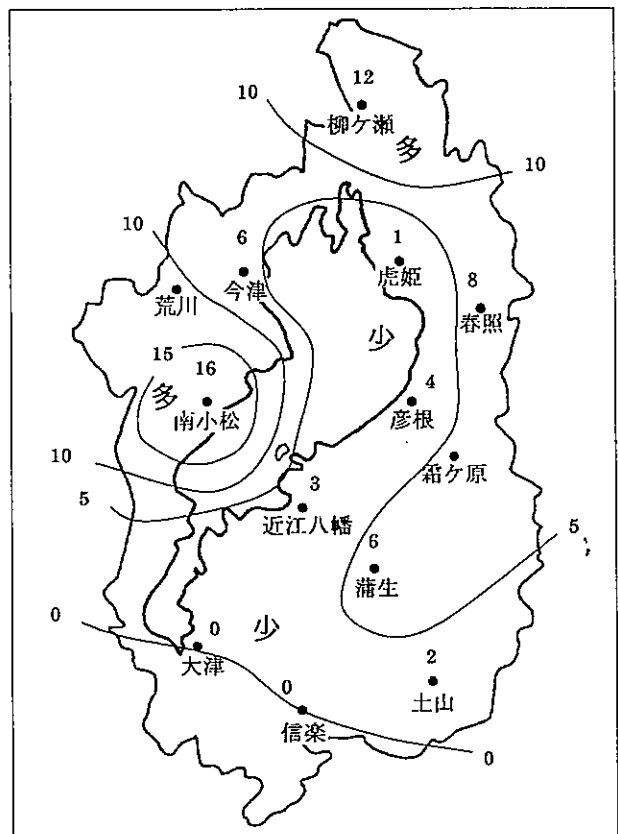
観測所	日	3日
柳ヶ瀬	多	12
今津	津	6
虎姫	姫	1
荒川	川	
春照	照	8
南小松	松	16
彦根	根	4
近江八幡	幡	3
霜ヶ原	原	
蒲生	生	6
大津	津	0
信楽	楽	0
土山	山	2

0 = 1cm未満

【積雪分布図】

単位 (cm)

(12月3日)



Ⅲ 被害の状況

(ア) 交通障害

区分	被害の状況
鉄道	JR東海道新幹線は、滋賀・岐阜県内の降雪のため、3日の始発から京都-名古屋間で徐行運転したため、最大15分の遅れがでた。
道路	名神高速道路は2日21時30分から3日15時まで、京都東-関ヶ原間の上下線で時速50kmの速度制限。北陸自動車道は2日21時40分から3日11時10分まで、米原-福井県境の上下線でチェーン規制。 また、国道477号の土山町大河原から三重県境まで、2日17時から3日終日通行止めとなった。 その他、県が管理する82路線で除雪車など77台が出動した。

4

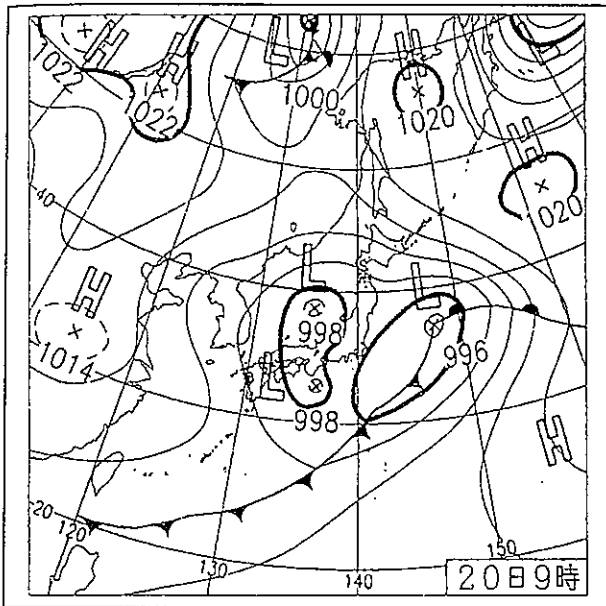
その他

◆降ひょう(5月20日)

I 気象の概要

日本海中部には上空約5,500mで-20℃以下の強い寒気を伴った低気圧が東に進んでいた。このため、大気の状態が非常に不安定で県内の所々で発雷し、局地的にひょうが降った。彦根では14時30分から5分間、直径5mmのひょうが降った。

【5月20日9時の天気図】



※L=低気圧 H=高気圧 T=台風 TD=熱帯低気圧

《気象台観測所雨量》

単位(mm)

地域気象観測所における降水量

(5月20日)

観測所	日	20日
柳ヶ瀬		25
今津		12
虎姫		15
荒川		12
春照		33
南小松		10
彦根		18
近江八幡		24
霜ヶ原		31
蒲生		28
大津		16
信楽		1
土山		11

II 被害の状況

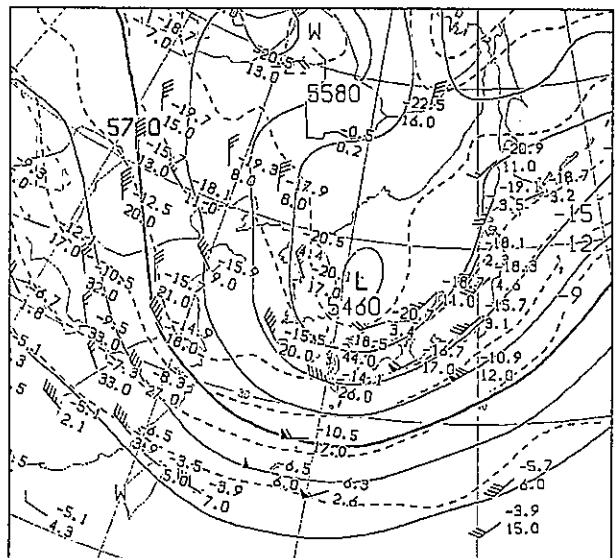
(ア) 農作物被害

被害対象	被害金額	被災市町村
ナシ	6,300万円	八日市市・日野町・竜王町・愛東町
ブドウ	270万円	八日市市・日野町・竜王町・愛東町

(イ) 被害金額

区分	金額(千円)
農産被害	1,102
《被害総額》	1,102

【5月20日9時の高層天気図】



— 高度(m) --- 温度(℃)

◆落雷（11月29日）

I 気象の概要

29日は、低気圧が発達しながら山陰沖を経て秋田沖へ進み、温暖前線、寒冷前線が西日本を通過した。

II 被害の状況

（ア）被害金額

区 分	金額（千円）
農林水産業施設	4,000
〈小 計〉	4,000
《被害総額》	4,000

平成10年

(1998年)

気象概況

1月の中旬までは周期的に西日本の南岸を低気圧が通過し、雨の降る日が多かった。冬型は一時的で長続きしなかった。下旬に強い冬型で寒気が流れ込み25日の朝は北部で大雪となった。月降水量は平年比142～304%（やや～かなり多い）であった。

2月の上旬は冬型で雪や雨の降る日が多かったが、その後は高気圧に覆われて穏やかな晴天の日が多く、雪は少なかった。月平均気温は平年差+1.0～+2.4℃（やや～かなり高い）であった。

3月は中旬に寒の戻りがあったが、暖かい日が多く、3月29日には桜（ソメイヨシノ）が平年（4月5日）より7日早く開花した。月平均気温は平年差+2.6～+3.8℃（やや～かなり高い）であった。

4月は上旬から中旬にかけて、低気圧や前線の影響で、ややまとまった雨が降った。月平均気温は平年差+1.8～+2.7℃でかなり高かった。月降水量も平年比148～202%（やや～かなり高い）であった。

5月は、南海上に停滞する前線の影響で曇りや雨の日が多く、11日～13日と月末に前線の活動が活発になって大雨となるなど、月の前半を中心に日照不足と多雨が顕著で農作物に影響があった。中旬の終わりから下旬前半は晴れる日が続き、22日には大津・蒲生で最高気温が30℃を超える真夏並みの暑さになるなど高温で、月平均気温もかなり高かった。また、月降水量は平年比138～202%（やや～かなり多い）であった。

6月は2日頃梅雨入りし、梅雨前線が西日本に停滞して曇りや雨の日が多かった。

7月上旬は太平洋高気圧に覆われ暑い日が多かった。梅雨明けは遅く31日になったが梅雨前線の活動は弱く、月降水量は平年比29～68%（かなり～やや少ない）であった。

8月は、上旬後半から中旬にかけて西日本付近に前線が停滞し、曇りや雨の降る日が多かった。下旬も日本海をゆっくり南下する前線と、日本の南海上をゆっくり北上する台風第4号の影響で、大気が不安定な状態になり雨を降らせ、雷の発生する日も多かった。月平均気温は平年並みからかなり高めであった。

9月の前半は高気圧に覆われ晴れる日が多かったが、後半は台風第5号をはじめ台風の接近、上陸や前線の停滞で雨の降る日が続いた。21日は台風第8号の影響で雨、22日には台風第7号の襲来で暴風雨となり、県内では強風による災害が多発した。月降水量は平年比97～182%（平年並み～かなり多い）であった。

10月は17日～18日にかけて台風第10号の影響もあり、中旬を中心に大雨が降り、強風も吹いた。月平均気温はかなり高く、月降水量はかなり多かった。

11月は10日に一時的に冬型の気圧配置になり、近畿地方で木枯らし1号が吹いた。後半は17日に低気圧が日本海を発達しながら通過して強い寒気が南下し、月末にかけては冬型の気圧配置で気温は低くかった。

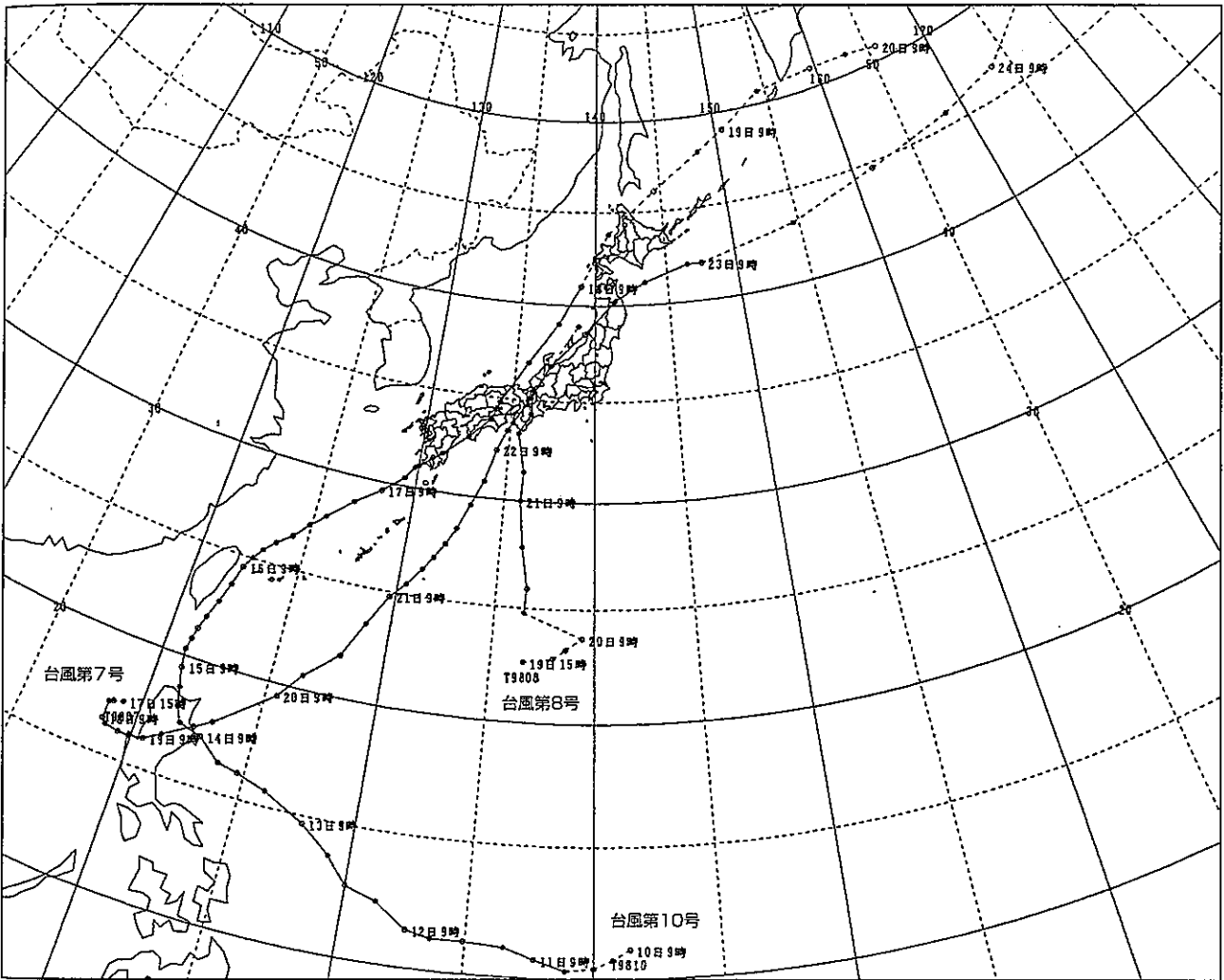
12月は、上旬末から中旬前半にかけて冬型気圧配置が続き寒くなった。月末にも冬型になったが、寒気の南下は弱く、その他の日は高気圧に覆われ晴れて穏やかな日が多かった。月平均気温は平年差+1.1～+2.0℃（やや～かなり高い）であった。

1 台 風

(1) 台風の概況

台風の発生数は16個で、平年の27.8個よりかなり少なかった。特に1月から8月の発生数は4個で、平年の発生数14.6個よりかなり少なかった。台風第1号の発生は、7月9日15時で気象庁が1951年に正式に台風の統計を開始して以来、最も遅い記録となった。月別の発生数は9月を除き平年より少なかった。9月は平年並みで5個発生してその全てが日本に接近し、そのうち3個が上陸した。日本への接近数は8個で平年の11個より少なかったが、日本本土への上陸数は4個で平年の2.8個よりも多かった。

【日本に影響のあった台風の経路】



《彦根地方気象台における極値》

台風番号	最低気圧	最大風速	最大瞬間風速
台風第7号	980.0hPa	WSW 16.6m/s	ESE 36.6m/s
台風第8号	996.5hPa	SSE 6.7m/s	SSE 12.4m/s
台風第10号	981.6hPa	SSE 14.5m/s	SSE 31.3m/s

(2) 災害の状況

◆台風第7・8号(9月21日~23日)

I 気象の概要

◇台風第7号

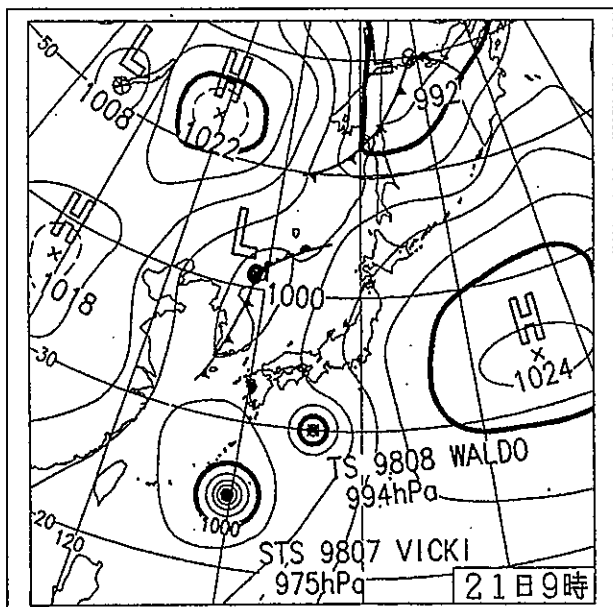
9月17日15時にルソン島の西の海上で発生した弱い熱帯低気圧は、17日21時に同海上で台風第7号と

なった。台風はルソン島を横断し、発達しながら南西諸島の南海上を北東へ進み、21日15時には中型で強い勢力となり南大東島の北の海上へ進んだ。台風は暴風域を広げながら、速い速度で西日本の南海上を北東へ進み、22日13時過ぎに和歌山県御坊市付近に上陸した。台風は近畿地方（15時頃滋賀県上空）を通過して同日18時過ぎに富山湾へ進み、同日22時前に中型で並みの強さの勢力で山形県の鶴岡市付近に再上陸した。台風は東北地方を通過して23日早朝には北海道の南海上へ進んだ。同日09時には北海道の東海上で温帯低気圧に変わり、さらに東北東へ進んだ。彦根における最低気圧は980.0hPa（22日14時46分）、最大風速は西南西の風16.6m/s（22日16時20分）、最大瞬間風速は東南東の風36.6m/s（22日14時46分）であった。

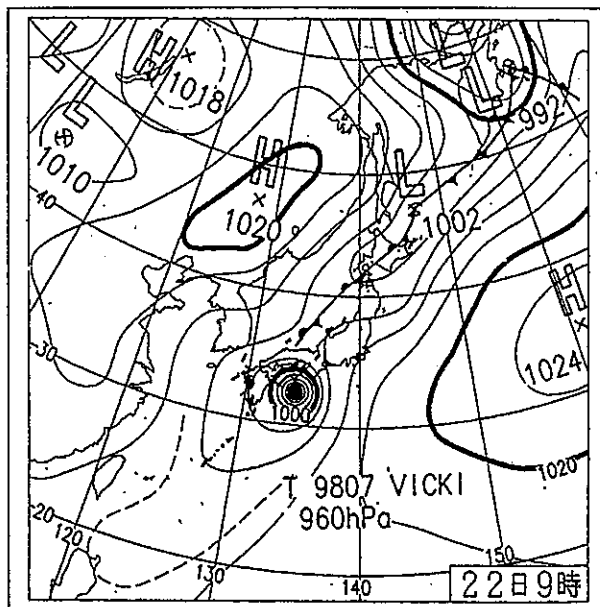
◇台風第8号

9月19日15時に沖ノ鳥島の北の海上で発生した弱い熱帯低気圧は、20日15時に同海域で台風第8号となった。その後、紀伊半島の南海上を北上し、21日16時前に小型で弱い勢力で和歌山県の田辺市付近に上陸した。台風は北上を続け同日21時に滋賀県北部で弱い熱帯低気圧になった。この弱い熱帯低気圧は、その後、富山湾へ進み、22日09時北日本付近で消滅した。彦根における最低気圧は996.5 hPa（21日20時10分）、最大風速は南南東の風6.7m/s（21日21時00分）、最大瞬間風速は南南東の風12.4m/s（21日20時51分）であった。

【9月21日9時の天気図】



【9月22日9時の天気図】



※ L=低気圧 H=高気圧 T=台風 TD=熱帯低気圧

II 降雨の状況

小型で弱い台風第8号は21日16時前に和歌山県田辺市付近に上陸し、速度を速めて更に北上し、21時には滋賀県彦根市付近で弱い熱帯低気圧となった。

南から暖かく湿った空気が流れ込み大気の状態が不安定となって、滋賀県では鈴鹿山系沿いに1時間20mm前後の強い雨が降り、土山、春照、霜ヶ原で21日の降水量が100mm前後となった。

中型で強い台風第7号は22日13時過ぎ和歌山県御坊市付近に上陸、大阪府と和歌山県の県境に沿って北上し、京都市付近を通過して14時30分頃には滋賀県に入り、中型で並の強さとやや勢力を弱めながら16時前に県内を抜けて、18時頃には富山市付近から日本海へ進み、滋賀県も暴風域から外れた。

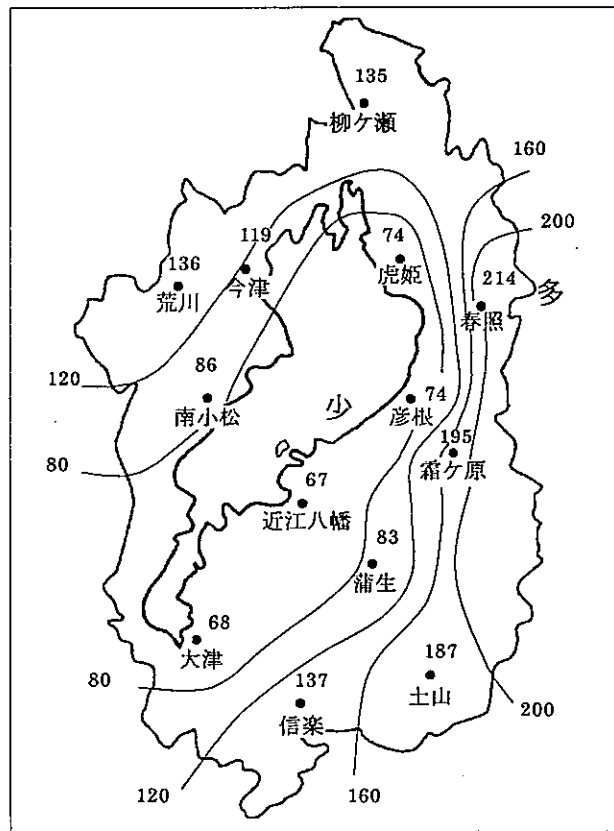
滋賀県では、22日13時頃から次第に暴風域に入り、雨は昼頃から夕方にかけて激しく降り、14時までの1時間に春照で29mm、土山で26mm、15時までの1時間に春照で31mm、霜ヶ原で26mm、17時までの1時間に柳ヶ瀬で44mm、今津で34mmを観測した。

《気象台観測所雨量》 単位(mm)
地域気象観測所における降水量
(9月21日~23日)

観測所	日	21日	22日	23日	計
柳ヶ瀬		30	105	-	135
今津		27	91	2	119
虎姫		31	43	-	74
荒川		38	98	-	136
春照		108	105	1	214
南小松		31	54	1	86
彦根		37	34	3	74
近江八幡		35	30	2	67
霜ヶ原		98	96	1	195
蒲生		42	39	2	83
大津		29	34	5	68
信楽		69	61	7	137
土山		101	78	8	187

- = なし

【降水量分布図】 単位(mm)
(9月21日~23日)



Ⅲ 出水の状況

水口・八日市・彦根土木事務所管内では、21日より断続的に降り続けている雨によって通報水位を越える河川が数箇所出ていたが、22日14時00分頃に時間雨量40mm前後の激しい雨が降り、野洲川や宇曾川等で警戒水位を越え始めた。数時間で降雨量は減少したため、徐々に水位は下がり始め、5~6時間程度で警戒水位を下回った。

また、長浜・木之本・今津土木事務所管内では22日16時00分頃に時間雨量50mm前後の激しい雨が降り、水位が急激に上がり、短時間で警戒水位を越える箇所が続出した。雨はすぐ止んだが、水位はしばらく警戒水位を下がらなかった。23日03時00分までに全ての河川で警戒水位を下回り、23日10時00分までの河川で通報水位を下回った。

《主要河川水位表》

河川名	観測所	河川事務所名	警戒水位 (m)	最高水位 (m)	日 時
野 洲 川	水口橋	水口土木	1.35	1.54	22日17時
野 洲 川	柏貴	水口土木	0.50	0.61	22日17時
祖 父 川	鵜川橋	八日市土木	1.50	1.56	22日15時
宇 曾 川	上枝	彦根土木	2.70	2.82	22日16時
芹 川	芹川旭橋	彦根土木	1.30	1.48	22日17時
姉 川	国友橋	長浜土木	1.80	2.71	22日20時
姉 川	難波橋	長浜土木	2.70	4.37	22日21時
高 時 川	川合橋	木之本土木	2.70	3.62	22日20時
知 内 川	知内橋	今津土木	1.30	1.57	22日18時
姉 川	難波橋	長浜土木	2.70	3.22	23日01時
石 田 川	岸脇	今津土木	1.80	2.79	22日18時
安 曇 川	船橋	今津土木	1.70	1.73	22日17時
安 曇 川	常安橋	今津土木	1.70	1.89	22日19時
鴨 川	鴨川橋	今津土木	1.90	1.92	22日17時

Ⅳ 気象官署のとした処置

(ア) 注意報・警報の発表状況

種 類	発 表 時 刻	発表・切替・解除
雷注意報	21日03時30分	発表
大雨・雷・強風・洪水注意報	21日06時00分	切替
大雨・雷・強風・洪水注意報	21日23時20分	〃
暴風警報・大雨・雷・洪水注意報	22日06時40分	〃
大雨・洪水・暴風警報・雷注意報	22日11時30分	〃
大雨・強風・洪水注意報	22日19時20分	〃
洪水注意報	22日22時00分	〃
〃	23日06時00分	解除

(イ) 気象情報

種 類	発 表 時 刻	種 類	発 表 時 刻
台風に関する情報第1号	21日07時00分	台風に関する情報第9号	22日10時30分
台風に関する情報第2号	21日10時40分	台風に関する情報第10号	22日13時40分
台風に関する情報第3号	21日13時30分	台風に関する情報第11号	22日15時30分
台風に関する情報第4号	21日16時30分	台風に関する情報第12号	22日16時10分
台風に関する情報第5号	21日19時30分	台風に関する情報第13号	22日17時40分
台風に関する情報第6号	21日22時30分	台風に関する情報第14号	22日18時25分
台風に関する情報第7号	22日04時50分	台風に関する情報第15号	22日19時30分
台風に関する情報第8号	22日07時30分		

(ウ) 県の対策状況

種 類	配 備 時 刻	配備・切替・解除
第1号警戒体制	21日06時00分	配備
第2号警戒体制	22日06時40分	切替
第1号警戒体制	22日19時20分	〃
〃	23日06時00分	解除

種 類	設置・廃止時刻	設置・廃止
災害警戒本部および地方本部	22日13時00分	設置
〃	22日19時30分	廃止

V 被害の状況

(ア) 人的被害

22日15時40分頃信楽町で、男性(63歳)の胸部を倒木が直撃して死亡。また20時50分頃愛知川で倒木除去中に、倒木の下敷きになっていた男性(57歳)を発見したがすでに死亡していた。さらに栗東町では16時33分強風により倒れたトタン外壁が男性(50歳)の頭部に直撃し意識不明の重体。16時頃近江八幡市では電柱が倒れ、走行中の乗用車を破損し1人が負傷した。

区 分	人	被災市町村(人)	
死 者	3	栗東町(1) 信楽町(1) 愛知川町(1)	
負傷者	重 傷	2	水口町(1) 山東町(1)
	軽 傷	20	大津市(3) 守山市(3) 栗東町(1) 水口町(4) 近江八幡市(1) 彦根市(4) 長浜市(2) 浅井町(2)

(イ) 住家被害

区 分	棟	世帯	人	被災市町村(棟・世帯・人)	
住家被害	半 壊	4	4	水口町(1・1・0) 蒲生町(1・0・0) 秦荘町(1・2・0) 山東町(1・1・4)	
	一部破損	400	221	599	草津市(13・13・0) 守山市(13・13・30) 栗東町(1・1・4) 石部町(3・10・31) 甲西町(1・1・0) 水口町(9・9・0) 土山町(19・0・0) 甲賀町(2・2・3) 甲南町(10・10・33) 信楽町(8・8・21) 安土町(6・6・8) 蒲生町(34・0・0) 竜王町(75・0・0) 永源寺町(50・0・0) 能登川町(2・0・0) 彦根市(9・9・41) 愛東町(13・13・53) 愛知川町(8・8・38) 甲良町(35・35・143) 長浜市(8・8・0) 山東町(20・20・76) 伊吹町(20・20・30) 米原町(15・15・55) 浅井町(3・0・0) 高月町(1・1・4) 木之本町(1・1・2) 余呉町(2・2・5) 今津町(9・9・0) 朽木村(4・4・10) 安曇川町(2・2・7) 新旭町(1・1・5) 野洲町(3・0・0)
	床上浸水	1	1	0	びわ町(1・1・0)
	床下浸水	26	26	48	山東町(2・2・6) びわ町(1・1・0) 木之本町(2・2・0) 今津町(5・5・0) 朽木村(13・13・32) 新旭町(3・3・10)
非住家被害	公共建物	181			草津市(1) 守山市(8) 栗東町(2) 中主町(2) 野洲町(5) 石部町(1) 甲西町(1) 水口町(7) 土山町(7) 甲賀町(2) 甲南町(5) 信楽町(11) 近江八幡市(10) 八日市市(28) 蒲生町(3) 竜王町(6) 永源寺町(3) 五個荘町(1) 彦根市(5) 愛東町(8) 甲良町(7) 長浜市(10) 山東町(9) 伊吹町(2) 米原町(4) 浅井町(8) 虎姫町(1) 木之本町(1) マキノ町(14) 朽木村(1) 安曇川町(4) 高島町(3) 新旭町(1)
	その他	438			大津市(1) 中主町(1) 野洲町(4) 水口町(5) 土山町(11) 甲賀町(1) 甲南町(12) 信楽町(10) 八日市市(83) 安土町(9) 蒲生町(13) 竜王町(73) 永源寺町(5) 五個荘町(14) 能登川町(9) 彦根市(1) 愛東町(7) 秦荘町(3) 愛知川町(20) 豊郷町(2) 甲良町(42) 多賀町(11) 長浜市(8) 山東町(22) 伊吹町(16) 米原町(38) 虎姫町(1) びわ町(2) マキノ町(8) 安曇川町(6)

(ウ) 農林水産・土木関係被害

区分	ha	箇所	戸	回線	被災市町村 (ha・箇所・戸・回線)
田	流失・埋没	359.4			野洲町(78) 甲賀町(268) 多賀町(13.1) 余呉町(0.3)
	冠水	803.2			大津町(370) 栗東町(20) 安土町(156) 永源寺町(10) 秦荘町(60) 甲良町(5) 多賀町(2) 長浜市(16) 米原町(30) マキノ町(7) 今津町(56.8) 朽木村(6) 新旭町(64.4)
畑	流失・埋没	6.35			野洲町(6.05) 永源寺町(0.3)
	冠水	221.7			大津市(8) 秦荘町(59.5) 甲良町(31) 多賀町(0.2) 長浜市(4) 米原町(5) マキノ町(18) 今津町(22) 新旭町(74)
その他	文教施設		161		草津市(16) 栗東町(3) 中主町(3) 野洲町(6) 石部町(3) 水口町(5) 土山町(9) 信楽町(3) 近江八幡市(12) 八日市市(15) 安土町(1) 蒲生町(5) 竜王町(5) 永源寺町(8) 愛東町(5) 秦荘町(4) 愛知川町(3) 長浜市(29) 山東町(2) 伊吹町(4) 浅井町(2) マキノ町(3) 今津町(4) 安曇川町(7) 高島町(3) 新旭町(1)
	病院施設		2		蒲生町(1) 永源寺町(1)
	道路		120		大津市(3) 水口町(5) 土山町(12) 甲賀町(3) 甲南町(2) 信楽町(2) 近江八幡市(1) 蒲生町(3) 竜王町(2) 永源寺町(1) 愛東町(1) 秦荘町(1) 多賀町(2) 山東町(1) 伊吹町(1) 米原町(1) びわ町(1) 木之本町(6) 余呉町(5) マキノ町(14) 今津町(37) 安曇川町(12) 新旭町(4)
	河川		63		土山町(2) 信楽町(4) 蒲生町(1) 竜王町(3) 愛東町(4) 秦荘町(2) 伊吹町(7) 米原町(1) びわ町(1) 余呉町(1) マキノ町(6) 今津町(29) 安曇川町(2)
	砂防		5		山東町(1) マキノ町(3) 今津町(1)
	清掃施設		4		山東町(1) 朽木村(1) 安曇川町(2)
	崖くずれ		6		土山町(2) 甲賀町(1) 永源寺町(2) 新旭町(1)
	鉄道不通		1		蒲生町(1)
	水道			470	甲南町(400) 今津町(70)
	電話(不通)				109 大津市(77) 土山町(2) 近江町(30)
他	電気(停電)		32,251		大津市(1,380) 守山市(11,000) 栗東町(9,000) 中主町(750) 石部町(200) 土山町(400) 甲南町(2,500) 近江八幡市(1,180) 八日市市(1,029) 蒲生町(630) 竜王町(2,000) 永源寺町(155) 能登川町(270) 愛東町(93) 秦荘町(591) 多賀町(177) 浅井町(8) 余呉町(219) 今津町(600) 朽木村(69)
	ブロック塀	26			栗東町(1) 石部町(1) 甲賀町(1) 日野町(2) 竜王町(6) 能登川町(1) 愛東町(1) 多賀町(1) 長浜市(3) 山東町(1) 米原町(2) 近江町(1) 高月町(1) 今津町(1) 高島町(3)
	ビニールハウス	19			高島町(13) 新旭町(6)

(エ) り災者数・り災世帯数

名称	り災規模		被災市町村
り災世帯数	世帯	1	山東町
り災人数	人	4	

(オ) 被害金額

区 分	金額(千円)
公立文教施設	83,767
農林水産業施設	535,432
公共土木施設	303,556
その他の公共施設	211,841
〈小 計〉	1,134,596
農産被害	1,509,697
林産被害	547,608
畜産被害	25,734
水産被害	5,000
商工被害	784
その他	188,697
〈被害総額〉	3,412,116

(カ) その他の状況

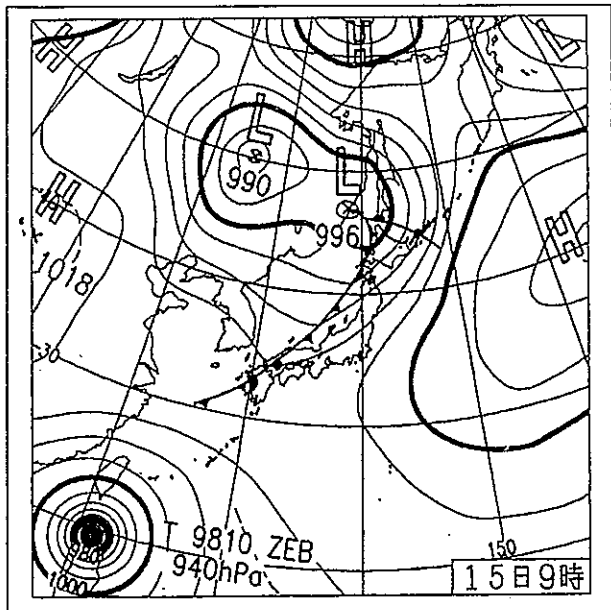
区 分	被 害 の 状 況
鉄 道	J R 東海道新幹線は米原-京都間で22日14時16分から18時過ぎまで運転を見合わせ、また、14時頃から在来線の東海道線は米原-京都間、北陸線・湖西線・草津線は全線で一時運休。私鉄の近江鉄道、京阪京津線、信楽高原鉄道も22日午後は全面運休。
道 路	県内の高速道路は22日15時頃から通行止めが相次ぎ、一部は夜まで続いた。さらに、落石や倒木により国道161号線など6国道、15県道で一部区間通行止め。
船 舶	琵琶湖汽船・オーミマリンは全便欠航した。
学 校	県内の公立の幼稚園、小・中学校等560校・園が臨時休校。
そ の、他	樹木の倒壊や飛来物で送電線が切れるなどして計36,000戸が停電。また、今津町などで約300戸が一時断水。さらに滋賀県大津市の比叡山延暦寺で樹齢400年以上の杉の大木が倒れ、国の重要文化財の「転法輪堂」の屋根が大破し、彦根市の「玄宮楽々園」の土堀が約130mにわたって倒壊した。

◆秋雨前線・台風第10号(10月15日～18日)

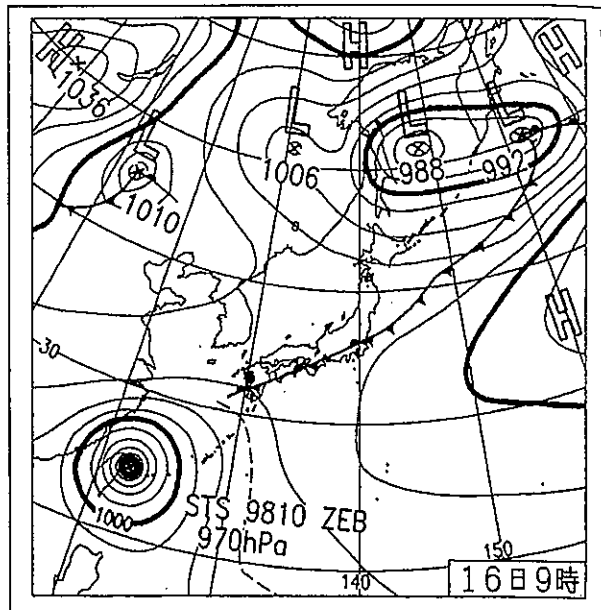
I 気象の概要

10月10日09時にマリアナ諸島の西の海上で発生した弱い熱帯低気圧は、11日03時、同海域で台風第10号となった。台風は急速に発達しながら西北西へ進み、13日夜には超大型で猛烈な勢力でルソン島の東海上へ進んだ。14日にルソン島北部に上陸した後、進行方向を北寄りに変え、台湾の南海上を北上し、16日朝には大型で並みの強さで与那国島の西の海上へ進んだ。その後、勢力を維持して南西諸島の北の海上を北東へ進み、17日16時半頃、中型で並みの強さで鹿児島県枕崎市付近に上陸し、九州南部から日向灘、高知県宿毛市付近を通過した。その後中国地方東部を通過して、日本海を速い速度で北東へ進み、同日朝、日本海北部の津軽半島沖で温帯低気圧に変わった。彦根における最低気圧は981.6hPa(18日01時31分)、最大風速は南南東の風14.5m/s(18日01時40分)、最大瞬間風速は南東の風31.3m/s(18日01時32分)であった。

【10月15日9時の天気図】

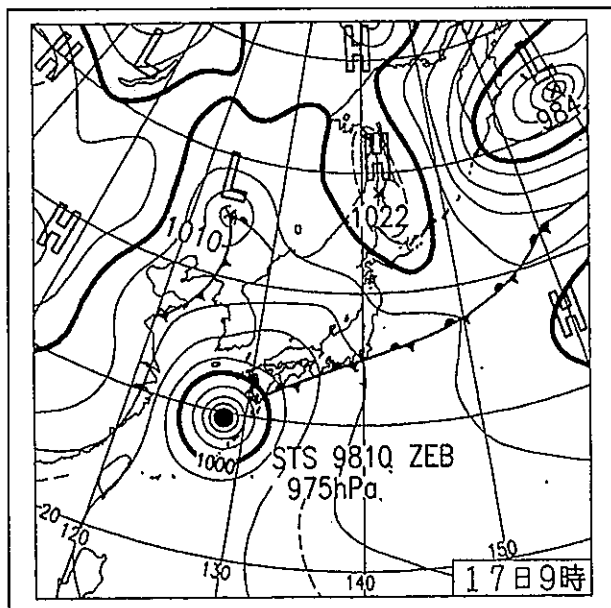


【10月16日9時の天気図】



※L=低気圧 H=高気圧 T=台風 TD=熱帯低気圧

【10月17日9時の天気図】



II 降雨の状況

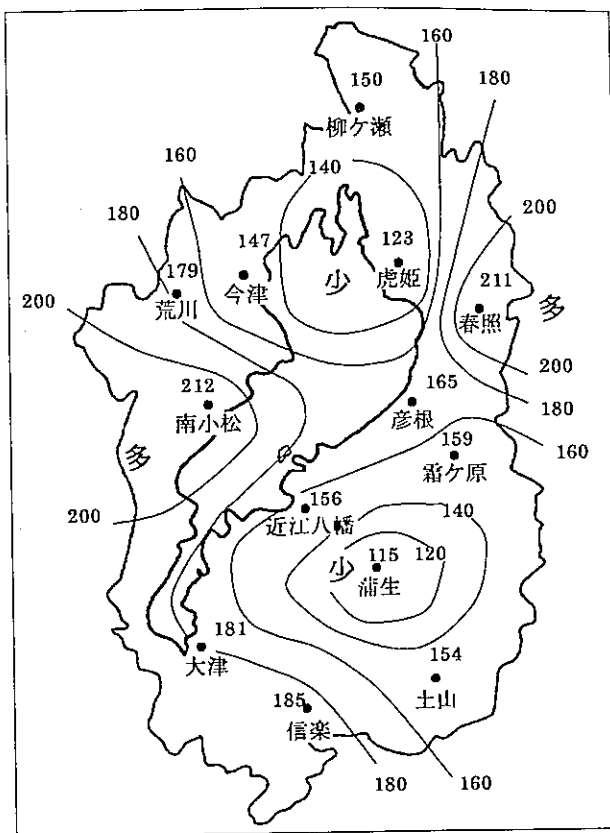
滋賀県では15日夕方前から16日朝にかけて断続的に強い雨が降り、南小松では15日23時までの1時間に27mm、16日02時までの1時間に彦根で25mm、03時までの1時間に大津で41mm、信楽では07時までの1時間に32mm、08時までの1時間に36mmを観測した。

17日も県下全域で昼頃まで強い雨が降り、また、夜半前から18日03時頃にかけては台風第10号の接近で激しい雨が降った。

《気象台観測所雨量》
地域気象観測所における降水量
(10月15日~18日)
単位(mm)

観測所	日	15日	16日	17日	18日	計
柳ヶ瀬		6	39	78	27	150
今津		12	25	84	26	147
虎姫		12	22	76	13	123
荒川		21	34	98	26	179
春照		8	49	97	57	211
南小松		49	37	96	30	212
彦根		12	68	67	18	165
近江八幡		20	60	63	13	156
霜ヶ原		9	33	84	33	159
蒲生		8	41	53	13	115
大津		9	81	72	19	181
信楽		8	114	45	18	185
土山		7	51	68	28	154

【降水量分布図】
(10月15日~18日)
単位(mm)



Ⅲ 出水の状況

長浜土木事務所管内では、15日より断続的に降り続けている雨によって、17日12時00分頃に、姉川で通報水位を越え始めた。その後も、雨は断続的に降り続いて18日04時00分頃に警戒水位を越えるところが出てきた。徐々に水位は下がり始め5時間程度で警戒水位を下回り、18日14時00分には通報水位も下回った。

また、今津土木事務所管内でも、15日より断続的に降り続けている雨によって、17日12時00分頃に、石田川で通報水位を越えた。その後も、雨は断続的に降り続き18日03時00分頃から通報水位を越えた。その後雨はすぐに小康状態になり通報水位まで下がった。その約8時間後には通報水位も下回った。

安曇川では18日03時00分頃から激しい雨で急激に水位が上がり、短時間で通報水位を越え警戒水位に達した。雨はその後小康状態になり警戒水位を下回った。

《主要河川水位表》

河川名	観測所	直轄 土木事務所名	警戒水位 (m)	最高水位 (m)	日時
姉川	国友橋	長浜土木	1.80	1.86	18日05時
姉川	難波橋	長浜土木	2.70	2.78	18日06時
安曇川	船橋	今津土木	1.70	1.77	18日03時
安曇川	常安	今津土木	1.50	1.57	18日04時
石田川	岸脇	今津土木	1.80	1.84	18日03時

IV 被害の状況

(ア) 人的被害

区 分	人	被災市町村(人)
重 傷	1	高月町
軽 傷	1	五個荘町

(イ) 住家被害

区 分	棟	世帯	人	被災市町村(棟・世帯・人)	
住家	一部破損	7	7	25	野洲町(1・1・3) 浅井町(1・1・3) 湖北町(2・2・6) 木之本町(2・2・7) 余呉町(1・1・6)
	床下浸水	12	0	0	大津市(12・0・0)
非住家	公共建物	18			近江八幡市(1) 八日市市(1) 浅井町(4) 湖北町(3) 高月町(2) 木之本町(5) 西浅井町(2)
	その他	32			大津市(1) 水口町(1) 近江八幡市(1) 八日市市(13) 秦荘町(1) 甲良町(4) 浅井町(5) 高月町(4) 木之本町(1) 余呉町(1)

(ウ) 農林水産・土木関係被害

区 分	ha	箇所	戸	回線	被災市町村(ha・箇所・戸・回線)
田	流失・埋没	2			朽木村(2)
	冠 水	66.2			中主町(65) 竜王町(1.2)
そ	文教施設		7		愛東町(1) 木之本町(5) 西浅井町(1)
	道 路		16		大津市(4) 志賀町(1) 栗東町(5) 土山町(2) 米原町(1) 湖北町(2) 西浅井町(1)
	河 川		9		土山町(2) 米原町(3) びわ町(1) 朽木村(3)
	がけ崩れ		3		近江八幡市(1) 愛東町(1) 浅井町(1)
の	水 道		36		朽木村(36)
	電話(不通)			1,400	大津市(1,400)
	電気(停電)		65		余呉町(65)
	ブロック塀		2		大津市(1) 近江町(1)
他					

(エ) 被害金額

区 分	金額(千円)
立文教施設	7,456
農林水産業施設	7,328
公共土木施設	76,589
その他の公共施設	98,616
〈小 計〉	189,989
農産被害	181,095
林産被害	12,200
畜産被害	50
その他	7,159
《被害総額》	390,493

(オ) その他の状況

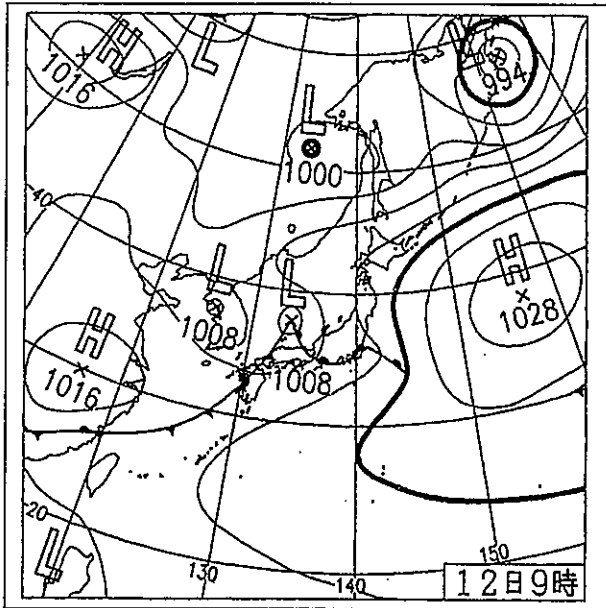
区分	被害の状況
道路	国道421号、306号線と県道7路線1市道1町道で通行止めとなった。
その他	国の重要文化財である大津市坂本の日吉大社摂社白山姫神拝殿の屋根が倒木により大破するなど、文化財の被害は計13ヶ所約8,000万円となった。

◆豪雨（5月12日～13日）

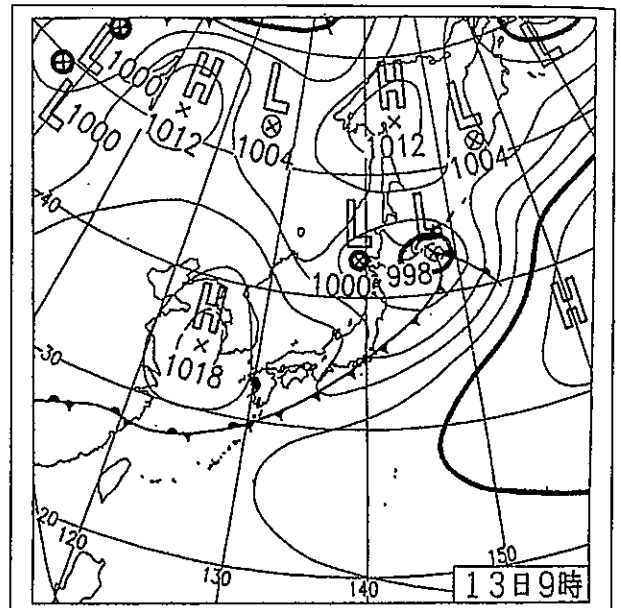
I 気象の概況

12日は低気圧が日本海西部を通過して秋田沖へ進み、低気圧に伴う寒冷前線が13日にかけてゆっくり南下した。

【5月12日9時の天気図】



【5月13日9時の天気図】



※ L=低気圧 H=高気圧 T=台風 TD=熱帯低気圧

II 降雨の状況

滋賀県では12日夜から13日朝にかけて北部を中心に短時間強雨を伴う大雨となった。

【降水量分布図】

（5月11日～13日）

単位 (mm)

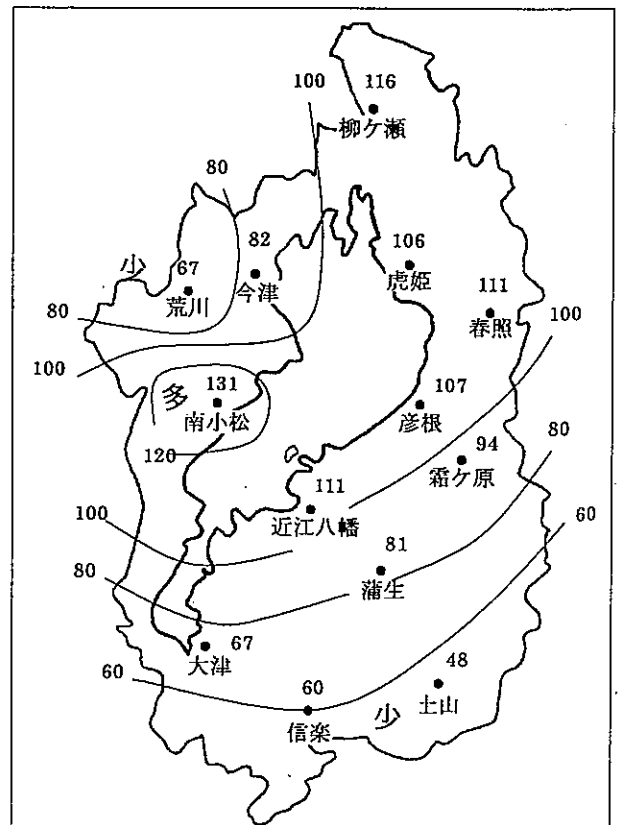
《気象台観測所雨量》

単位 (mm)

地域気象観測所における降水量

（5月11日～13日）

観測所	日	11～13日
柳ヶ瀬		116
今津		82
虎姫		106
荒川		67
春照		111
南小松		131
彦根		107
近江八幡		111
霜ヶ原		94
蒲生		81
大津		67
信楽		60
土山		48



Ⅲ 被害の状況

(ア) 農林水産・土木関係被害

区分	箇所	被災市町村(箇所)
道路	1	西浅井町

(イ) 被害金額

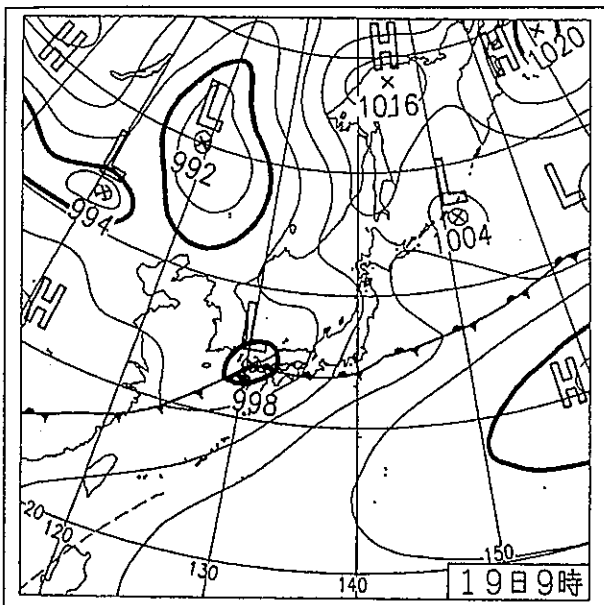
区分	金額(千円)
公共土木施設被害	630
〈小計〉	630
《被害総額》	630

◆豪雨(6月19日~23日)

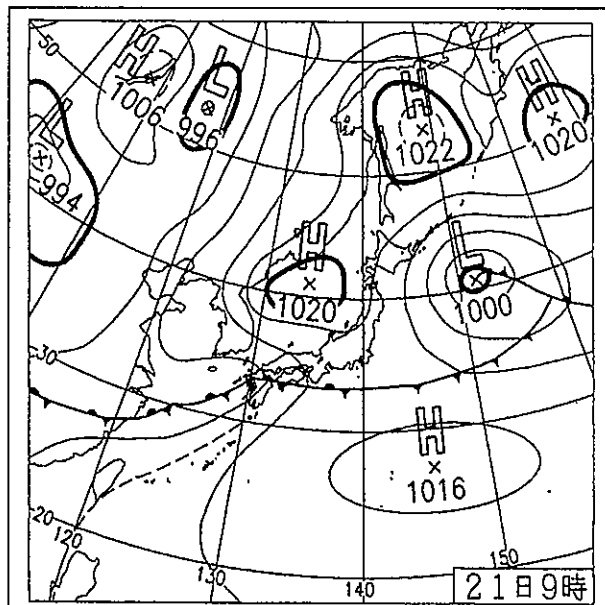
I 気象の概況

19日、低気圧が前線に沿って山陰沿岸から能登沖に進み、前線が西日本を通過した。20日には北海道の東海上へ進み、前線が九州の南海上にかけて停滞した。また、21日から22日にかけては四国沖の梅雨前線を低気圧が進み、梅雨前線が近畿地方まで活動を強めながら北上したため、再び大雨となった。23日も前線が引き続き九州から関東の南海上に停滞した。

【6月19日9時の天気図】



【6月21日9時の天気図】



※ L=低気圧 H=高気圧 T=台風 TD=熱帯低気圧

Ⅱ 降雨の状況

19日、21日から22日は、低気圧の通過で梅雨前線の活動が活発になって強い雨が降った。

《気象台観測所雨量》

単位 (mm)

地域気象観測所における降水量

(6月19日～23日)

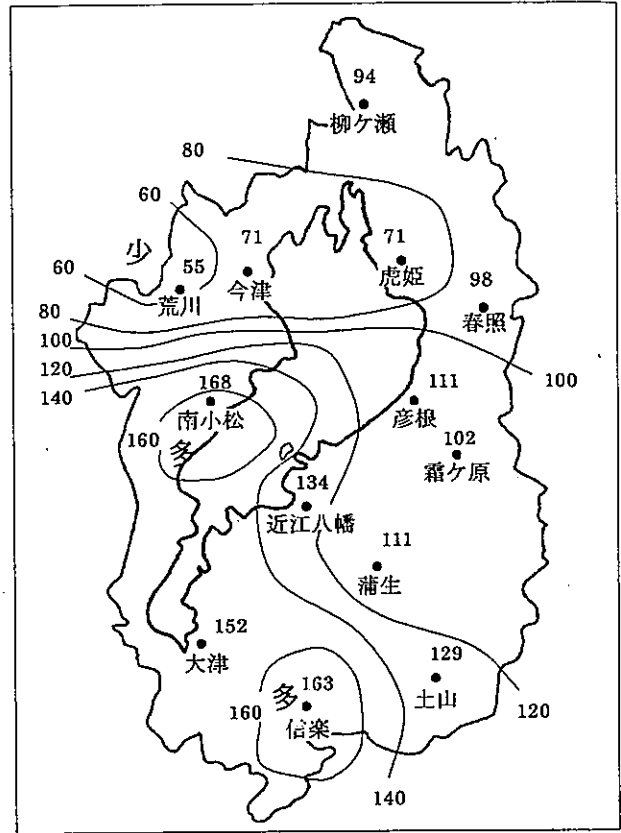
観測所	日	19日	20日	21日	22日	23日	計
柳ヶ瀬		63	4	22	4	1	94
今津		41	-	27	3	-	71
虎姫		39	-	23	9	-	71
荒川		28	-	25	2	-	55
春照		48	-	32	17	1	98
南小松		99	-	61	7	1	168
彦根		43	-	46	22	-	111
近江八幡		41	3	74	15	1	134
霜ヶ原		38	3	37	22	2	102
蒲生		44	-	51	15	1	111
大津		49	-	85	16	2	152
信楽		64	-	79	18	2	163
土山		49	1	57	18	4	129

- = なし

【降水量分布図】

単位 (mm)

(6月19日～23日)



Ⅲ 被害の状況

(ア) 住家被害

区分	箇所	被災市町村(箇所)
床下浸水	4	大津市(4)

(イ) 農林水産・土木関係被害

区分	箇所	被災市町村(箇所)
道路	29	大津市(29)
河川	20	大津市(13) 信楽町(7)
崖くずれ	3	大津市(2) 野洲町(1)
ブロック塀	1	野洲町(1)

(ウ) 被害金額

区分	金額(千円)
農林水産業施設	2,000
公共土木施設	52,240
〈小計〉	54,240
その他	16,000
〈被害総額〉	70,240

(エ) その他の状況

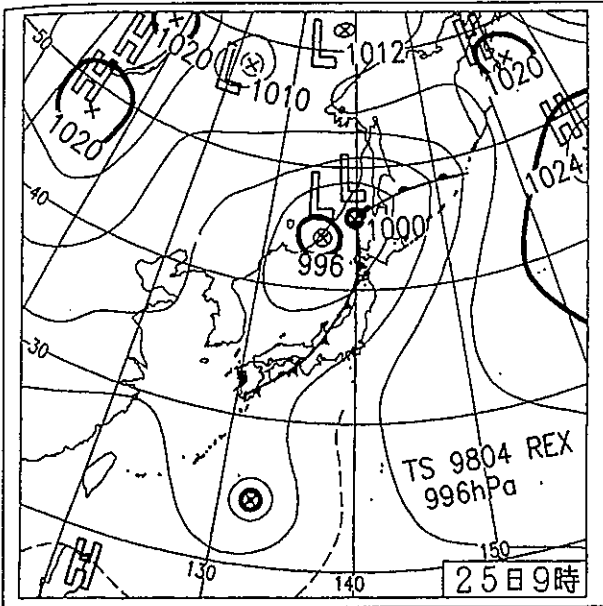
区分	被害の状況
がけ崩れ	21日20時頃大津市南郷5丁目の民家裏山(幅12m×高さ15m)及び22日08時頃野洲郡野洲町南桜の民家裏山(幅10m×高さ3m)が崩れた。また、23日05時頃神崎郡永源寺町君ヶ畑の御池林道沿いの斜面(幅4m×高さ20m、1,600㎡)が崩れ、土砂が林道をふさぎ関電線、NTT線、有線が土砂に埋まり、君ヶ畑地区の40世帯約80人が孤立し、小・中学生4人が通学できなくなり、自宅学習に切り替えた。
交通規制	21～23日にかけて、県道下鴨大津線、大津南郷宇治線、佐生今線の3箇所及び御池林道2箇所で大規模崩土、落石等により通行止め・片側通行。
その他	21日18時頃、JR大津駅構内のホームと改札を結ぶ地下通路に雨水が流れ込み、乗客等が通れなくなった。JRの運行に影響はなかったが、構内には列車24本の乗客約300人が乗り降りできなくなった。水位は最大40cmとなったが、19時30分には排水作業を終えた。新聞報道によると、21日夕方の強い雨で雨水が一挙に水路に流れ込み、水路から水があふれ出し、真下にある駅南側再開発工事現場を通じて、JR地下通路に流れ出したためという。

◆大雨(8月26日~31日)

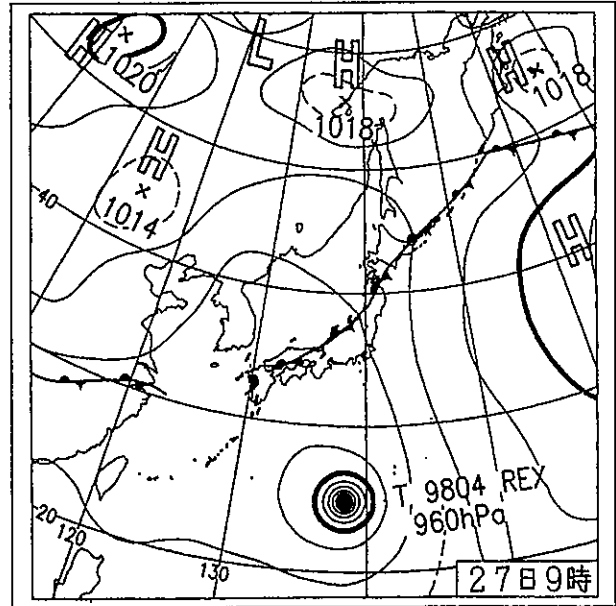
I 気象の概要

26日は前線が北日本から東日本にかけて停滞、台風第4号が父島の南西海上を北東へ進んだ。27~30日は前線が日本付近に停滞、台風第4号が父島の西海上を北へ進んだ。

【8月25日9時の天気図】



【8月27日9時の天気図】



※ L=低気圧 H=高気圧 T=台風 TD=熱帯低気圧

II 降雨の状況

《気象台観測所雨量》

単位 (mm)

地域気象観測所における降水量

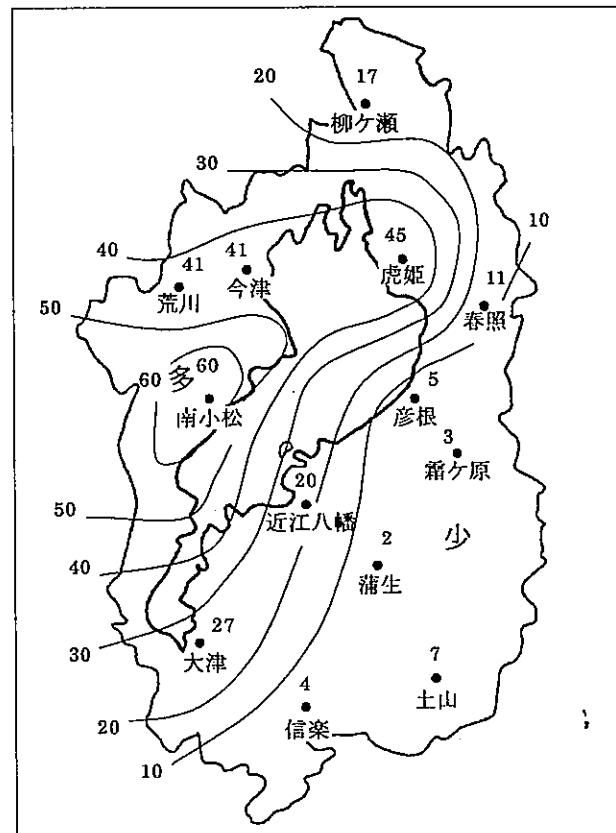
(8月27日)

観測所	日	27日
柳ヶ瀬		17
今津		41
虎姫		45
荒川		41
春照		11
南小松		60
彦根		5
近江八幡		20
霜ヶ原		3
蒲生		2
大津		27
信楽		4
土山		7

【降水量分布図】

単位 (mm)

(8月27日)



III 被害の状況

(ア) 住家被害

区分	棟	世帯	人	被災市町村(戸・箇所・棟)
床下浸水	15	15	21	長浜市(15・15・21)



強 風

◆強風（2月21日）

《気象台観測所最大風速》

単位 (m/s)

I 気象の概要

地域気象観測所における最大風速

(2月21日)

20日に低気圧が発達しながら九州の西海上から東海沖へ進み、21日にはさらに発達して関東沖から東海上へと、大陸の高気圧が日本付近に張り出した。このため、県下全域で北西の風が強かった。

彦根では 最大風速 北西 12.2m/s

最大瞬間風速 北西 19.7m/s

を観測した。

観測所	風速	日 時
今 津	10	21日05時
虎 姫	7	21日15時
南 小 松	8	21日16時
彦 根	12	21日13時
蒲 生	9	21日14時
大 津	5	21日14時
信 楽	7	21日12時
土 山	5	21日12時

(ア) その他の状況 (交通障害)

区 分	被 害 の 状 況
鉄 道	新聞報道によると、21日03時35分頃JR湖西線の比良-近江舞子間の比良川に設置された風速計が25mを記録したため、運転を見合わせ約6時間運転を中止した。 このため、普通電車24本が運休し、特急12本が最大1時間遅れ、6千人に影響が出た。 また、21日12時12分頃にも同様に25mを記録し、約1時間運転を見合わせ、普通電車16本が運休したほか、特急などが最大1時間20分遅れ、4千人に影響を与え、午前中の運休と合わせてこの日のダイヤは大きく乱れた。 この地域特有の局地風「比良八荒」のような状況であったと思われる。

II 被害の状況

◆強風（3月7日）

《気象台観測所最大風速》

単位 (m/s)

I 気象の概要

地域気象観測所における最大風速

(3月7日)

明け方に近畿地方を寒冷前線が通過して冬型気圧配置となり県下全域で北西の風が強かった。

彦根では 最大風速 北西 11.6m/s

最大瞬間風速 北西 18.6m/s

を観測した。

観測所	風速	日 時
今 津	10	7日14時
虎 姫	7	7日15時
南 小 松	4	7日22時
彦 根	12	7日15時
蒲 生	8	7日13時
大 津	5	7日22時
信 楽	5	7日24時
土 山	6	7日16時

II 被害の状況

(ア) その他の状況(交通障害)

区 分	被 害 の 状 況
事 故	<p>新聞報道によると、東浅井郡湖北町の延勝寺漁港から、7日朝小型漁船で父娘(58才、18才)が湖上に漁に出たまま行方不明となった。湖上は13~15mの風と1m前後の波で一日中荒れた状態が続いた。8日に父娘の乗っていた漁船(長さ8.6m)が同町今西の沖約1kmの湖底で見つかり、9日には1人(娘)が遺体で発見された。警察の検視の結果、水死と断定され、強い風と波で漁船に水が入り沈没し、2人とも湖上に投げ出されたのではないかと見られている。</p> <p>また、同日高島郡安曇川町の北船木漁港から、大阪府の会社員2人(23才、26才)がボートで釣りに出たまま行方不明となった。12日には1人遺体で発見され、もう1人は依然不明のままである。</p>



そ の 他

◆雷害（8月12日）

I 気象の概要

太平洋高気圧に覆われていたが、東北地方から山陰沖にのびる梅雨前線がゆっくり南下し、この前線に向かって南から暖かくて湿った空気が流れ込んだ。このため、大気の状態が不安定となり、県内では所々で雷雲が発達し、にわか雨や雷雨となった。

II 被害の状況

電柱への落雷により、12日13時15分頃から愛知郡豊郷町約350戸。神崎郡能登川町約800戸、守山市約50戸、草津市約30戸の計約1,230戸で30～50分間停電した。電柱上のヒューズが焼き切られたのが原因と見られる。

（ア）農林水産・土木関係被害

区 分	戸	被 災 市 町 村 (戸)
電 気	1,230	豊郷町(350) 能登川町(800) 守山市(50) 草津市(30)

資料編

昭和63年から平成10年までの滋賀県災害復旧事業内訳表	1
滋賀県河港課作成による災害復旧事業調査報告書（県工事内訳調査、 市町村工事内訳調査）のうち、河川復旧工事、道路復旧工事の箇所を整理した。	
昭和63年から平成10年までの火災統計表（死者が出た火災）	87
昭和63年から平成10年までの地震統計表	93
昭和63年から平成10年までの自衛隊災害派遣状況	103
平成8年4月から平成10年までの滋賀県防災ヘリコプター「淡海」出場状況	104
信楽高原鐵道列車衝突事故災害概要	108

昭和63年6月2～3日梅雨前線豪雨〈道路被害〉

市 町 村 名	種 別	道 路 名	箇 所 数	被 害 額 (千 円)
大 津 市	県	国道367号線	2	8,143
		【合 計】	2	8,143
守 山 市	市町村	欲賀金ノ森線	1	2,666
		二町伊勢線	2	6,843
		【合 計】	3	9,509
栗 東 町	県	栗東信楽線	1	1,552
		【合 計】	1	1,552
野 洲 町	市町村	野洲北線	1	4,551
		小篠原稲辻線	1	1,472
		【合 計】	2	6,023
甲 賀 町	県	上馬杉上野線	1	26,612
		【合 計】	1	26,612
甲 南 町	県	国道307号線	1	24,924
		甲賀阿山線	1	1,574
		【合 計】	2	26,498
信 楽 町	県	国道307号線	1	3,602
		栗東信楽線	1	2,233
		甲賀信楽線	2	2,833
		〈小 計〉	4	8,668
	市町村	漆原環状線	1	1,522
		〈小 計〉	1	1,522
【合 計】	5	10,190		
日 野 町	県	中里山上日野線	1	2,585
		〈小 計〉	1	2,585
	市町村	中道線	1	1,027
		〈小 計〉	1	1,027
	【合 計】	2	3,612	
竜 王 町	県	彦根八日市甲西線	1	3,796
		【合 計】	1	3,796
永 源 寺 町	県	国道421号線	4	13,050
		〈小 計〉	4	13,050
	市町村	上二俣中之堤線	1	4,368
		政所杜薬尾線	1	2,764
		〈小 計〉	2	7,132
【合 計】	6	20,182		
彦 根 市	県	柳川能登川線	1	3,178
		【合 計】	1	3,178

市 町 村 名	種 別	道 路 名	箇 所 数	被 害 額 (千 円)
多 賀 町	県	多賀醒ヶ井線	1	2,680
		【合 計】	1	2,680
山 東 町	市町村	志賀谷堂谷線	1	1,794
		【合 計】	1	1,794
伊 吹 町	県	山東本巢線	2	6,840
		【合 計】	2	6,840
米 原 町	県	多賀醒ヶ井線	1	7,651
		【合 計】	1	7,651
近 江 町	県	能登瀬岩脇線	1	4,637
		【合 計】	1	4,637
高 月 町	市町村	西野熊野西阿閉線	1	7,816
		【合 計】	1	7,816
木 之 本 町	県	中河内木之本線	1	1,669
		《小 計》	1	1,669
	市町村	杉野線	1	8,197
		黒田大音線	1	2,470
		大沢線	1	1,053
		西山山手線	1	2,226
		《小 計》	4	13,946
	【合 計】	5	15,615	
余 呉 町	県	中河内木之本線	2	5,777
		【合 計】	2	5,777
総 計			40	172,105

昭和63年6月2～3日梅雨前線豪雨〈河川被害〉

市 町 村 名	種 別	河 川 名	箇 所 数	被 害 額 (千円)
大 津 市	県	宮川	1	4,444
		盛越川	1	1,443
		相模川	1	3,451
		大宮川	1	2,387
		真野川	4	24,779
		和邇川	1	1,133
		草津川	1	1,856
	【合 計】		10	39,493
守 山 市	県	法竜川	4	35,913
		〈小 計〉	4	35,913
	市町村	八反田川	1	7,107
		〈小 計〉	1	7,107
	【合 計】		5	43,020
栗 東 町	県	金勝川	1	16,047
		【合 計】	1	16,047
土 山 町	県	笹路川	1	4,334
		【合 計】	1	4,334
甲 賀 町	県	櫛野川	1	7,030
		【合 計】	1	7,030
信 楽 町	県	信楽川	2	12,261
		寺谷川	1	7,511
		田代川	2	15,545
		〈小 計〉	5	35,317
	市町村	猪鼻川	1	5,703
		仏谷川	1	1,620
		〈小 計〉	2	7,323
	【合 計】		7	42,640
近 江 八 幡 市	県	三明川	1	13,016
		藤間川	1	4,861
		【合 計】		2
蒲 生 町	県	白鳥川	2	17,808
		大同川	1	2,927
		【合 計】		3
日 野 町	県	佐久良川	1	8,087
		野川	1	12,828
		池川	1	5,196
		西明寺川	1	3,753

市 町 村 名	種 別	河 川 名	箇 所 数	被 害 額 (千 円)
	市町村	《小 計》	4	29,864
		大井川	1	4,251
		池川	1	20,745
		《小 計》	2	24,996
	【合 計】	6	54,860	
能 登 川 町	県	山路川	1	14,919
	【合 計】	1	14,919	
彦 根 市	県	安食川	1	127,787
		文録川	1	12,791
	【合 計】	2	140,578	
湖 東 町	県	安壺川	1	6,741
	【合 計】	1	6,741	
秦 荘 町	県	岩倉川	2	9,010
		五の谷川	1	4,186
	【合 計】	3	13,196	
豊 郷 町	県	岩倉川	2	22,584
	【合 計】	2	22,584	
山 東 町	県	天野川	5	39,909
		政所川	2	10,133
		《小 計》	7	50,042
	市町村	深谷川	1	4,271
		《小 計》	1	4,271
	【合 計】	8	54,313	
伊 吹 町	市町村	向山谷川	1	1,536
	【合 計】	1	1,536	
近 江 町	県	天野川	2	54,662
		長老墓地川	1	4,868
	【合 計】	3	59,530	
虎 姫 町	県	高時川	1	19,151
	【合 計】	1	19,151	
湖 北 町	県	高時川	2	44,308
	【合 計】	2	44,308	
び わ 町	県	姉川	1	25,921
	【合 計】	1	25,921	
余 呉 町	県	余呉川	6	33,526
	【合 計】	6	33,526	
西 浅 井 町	県	大川	11	85,675

市 町 村 名	種 別	河 川 名	箇 所 数	被 害 額 (千 円)
		【合 計】	11	85,675
高 島 町	県	鴨川	1	2,500
		和田打川	3	27,431
		【合 計】	4	29,931
新 旭 町	県	安曇川	1	26,091
		【合 計】	1	26,091
総		計	83	824,036

昭和63年6月8日～7月16日梅雨前線豪雨〈河川被害〉

市町村名	種別	河川名	箇所数	被害額(千円)
大津市	県	信楽川	1	2,443
		国分川	1	2,394
		〈小計〉	2	4,837
	市町村	萱尾川	1	20,040
		高橋川	1	20,111
		水谷川	1	15,279
		雄琴川支流	1	10,436
		大倉川	1	4,207
		堤川	1	13,887
		融川	1	6,224
		若宮川	1	7,949
		喜登呂川	1	9,497
		喜登呂川支流	1	10,338
		〈小計〉	10	117,968
		【合計】	12	122,805
守山市	県	法竜川	1	6,668
		〈小計〉	1	6,668
	市町村	中川	1	4,670
		〈小計〉	1	4,670
	【合計】	2	11,338	
中主町	市町村	御田川	1	14,558
	【合計】	1	14,558	
石部町	市町村	立石川	1	2,842
		石橋川	1	1,576
	【合計】	2	4,418	
甲西町	県	思川	1	20,842
	【合計】	1	20,842	
土山町	県	田村川	1	12,501
		笹路川	4	40,516
	【合計】	5	53,017	
甲賀町	県	柚川	2	28,124
		大原川	1	12,078
		〈小計〉	3	40,202
	市町村	向川	1	4,037
		〈小計〉	1	4,037
	【合計】	4	44,239	
甲南町	県	磯尾川	2	23,684

市 町 村 名	種 別	河 川 名	箇 所 数	被 害 額 (千 円)
		日明谷川	1	7,572
		【合 計】	3	31,256
信 楽 町	県	信楽川	2	14,639
		大戸川	3	37,983
		【合 計】	5	52,622
近 江 八 幡 市	県	蛇砂川	3	37,487
		白鳥川	1	6,974
		藤間川	1	3,636
		【合 計】	5	48,097
八 日 市 市	県	蛇砂川	2	2,270
		【合 計】	2	2,270
安 土 町	県	蛇砂川北流	1	5,900
		【合 計】	1	5,900
蒲 生 町	県	法教寺川	2	201,410
		佐久良川	1	9,767
		大同川	1	4,313
		【合 計】	4	215,490
日 野 町	県	日野川	1	13,289
		佐久良川	5	37,192
		野川	2	12,874
		池川	1	7,538
		宮川	1	2,447
		南砂川	1	12,285
		前川	1	21,280
		西明寺川	1	2,833
		《小 計》	13	109,738
		市町村	鳥羽谷川	1
	野谷川		1	24,129
	法光寺川		1	15,667
	池川		1	7,681
	《小 計》		4	56,634
【合 計】	17	166,372		
竜 王 町	県	祖父川	1	2,121
		新川	1	7,029
		惣四郎川	1	8,297
	【合 計】	3	17,447	
彦 根 市	県	小野川	1	16,499

市 町 村 名	種 別	河 川 名	箇 所 数	被 害 額 (千 円)
		安食川	1	70,376
		【合 計】	2	86,875
山 東 町	県	姉川	2	41,121
		【合 計】	2	41,121
浅 井 町	県	田根川	1	3,594
		【合 計】	1	3,594
虎 姫 町	県	田川	1	18,056
		【合 計】	1	18,056
湖 北 町	県	田川	1	30,089
		【合 計】	1	30,089
高 月 町	県	高時川	1	38,017
		余呉川	5	168,562
		【合 計】	6	206,579
木 之 本 町	県	高時川	2	84,641
		杉野川	3	9,274
		【合 計】	5	93,915
余 呉 町	県	高時川	1	140,073
		【合 計】	1	140,073
西 浅 井 町	県	大川	1	3,976
		【合 計】	1	3,976
マ キ ノ 町	県	八王子川	1	2,264
		【合 計】	1	2,264
今 津 町	県	上郷川	1	53,419
		石田川	1	1,689
		寒風川	1	7,125
		【合 計】	3	62,233
朽 木 村	県	麻生川	1	1,372
		【合 計】	1	1,372
安 曇 川 町	県	大築波川	3	5,794
		鴨川	1	6,462
		【合 計】	4	12,256
高 島 町	県	瀬戸川	1	1,948
		鴨川	1	4,545
		【合 計】	2	6,493
総		計	98	1,519,567

昭和63年6月8日～7月16日梅雨前線豪雨〈道路被害〉

市町村名	種別	道路名	箇所数	被害額(千円)
大津市	県	大津南郷宇治線	1	5,281
		大津信楽線	1	3,282
		宇治田原大石東線	1	3,412
		【合計】	3	11,975
守山市	県	荒見上野近江八幡線	1	1,090
		【合計】	1	1,090
野洲町	県	野洲甲西線	1	1,249
		【合計】	1	1,249
甲西町	県	牧甲西線	1	3,209
		【合計】	1	3,209
水口町	県	水口甲南線	1	1,354
		【合計】	1	1,354
甲南町	市町村	学校線	1	786
		【合計】	1	786
信楽町	県	国道307号線	1	1,099
		国道422号線	1	2,084
		〈小計〉	2	3,183
	市町村	尾花線	1	1,035
		〈小計〉	1	1,035
		【合計】	3	4,218
近江八幡市	県	彦根近江八幡線	1	81,902
		【合計】	1	81,902
八日市市	県	国道307号線	1	9,503
		近江八幡蒲生線	1	1,346
		【合計】	2	10,849
安土町	県	小脇西生来線	1	1,649
		【合計】	1	1,649
蒲生町	市町村	宮川春日線	1	1,468
		鈴平田線	1	2,907
		【合計】	2	4,375
日野町	県	中里山上日野線	1	16,552
		西明寺安部居線	3	13,564
		〈小計〉	4	30,116
	市町村	西明寺原線	2	3,066
		原線	1	1,275
		奥之池線	1	1,282
		木津線	1	1,186

市 町 村 名	種 別	道 路 名	箇 所 数	被 害 額 (千 円)
		本町南3号線	1	3,232
		猿橋線	1	3,634
		《小 計》	7	13,675
	【合 計】	11	43,791	
永 源 寺 町	県	相谷原柚線	1	1,160
	【合 計】	1	1,160	
浅 井 町	県	郷野湖北線	1	1,238
	【合 計】	1	1,238	
木 之 本 町	県	国道303号線	15	57,842
		杉本余呉線	1	975
		《小 計》	16	58,817
	市町村	西黒田線	1	8,244
		《小 計》	1	8,244
	【合 計】	17	67,061	
余 呉 町	県	中河内木之本線	1	4,549
	【合 計】	1	4,549	
今 津 町	県	国道303号線	1	775
	【合 計】	1	775	
朽 木 村	県	小浜朽木高島線	1	3,548
		麻生古屋梅ノ木線	2	6,074
	【合 計】	3	9,622	
総 計			52	250,852

昭和63年8月15～16日豪雨〈河川被害〉

市 町 村 名	種 別	河 川 名	箇 所 数	被 害 額 (千円)
水 口 町	県	野洲川	4	37,814
		【合 計】	4	37,814
土 山 町	県	野洲川	8	160,819
		田村川	4	19,366
		雨ヶ谷川	1	2,031
		坂尻川	1	1,989
		〈小 計〉	14	184,205
	市町村	畑ヶ平川	1	6,293
	〈小 計〉	1	6,293	
	【合 計】	15	190,498	
甲 賀 町	県	野洲川	1	9,028
		大原川	1	88,197
		唐鋒川	2	20,091
	【合 計】	4	117,316	
甲 南 町	県	杉谷川	3	318,621
		水谷川	2	216,265
	【合 計】	5	534,886	
総 計			28	880,514

昭和63年8月15～16日豪雨〈道路被害〉

市町村名	種別	道路名	箇所数	被害額(千円)
土山町	県	鮎河猪ノ鼻線	1	9,139
		《小計》	1	9,139
	市町村	黒滝線	1	2,087
		丸田線	1	2,331
		千谷中村線	1	639
		研白線	2	5,741
		《小計》	5	10,798
	【合計】		6	19,937
甲賀町	県	南土山甲賀線	1	20,530
		《小計》	1	20,530
	市町村	次郎九郎線	1	7,928
		《小計》	1	7,928
	【合計】		2	28,458
甲南町	県	槇山甲南線	1	905
		《小計》	1	905
	市町村	竹治線	1	591
		向側線	1	382
		《小計》	2	973
	【合計】		3	1,878
総計		11	50,273	